



東証: 4502

TAK
LISTED
NYSE

世界中の人々の健康と 輝かしい未来に貢献する

2022年度第3四半期決算発表
2023年2月2日



重要な注意事項



本注意事項において、「プレゼンテーション (presentation)」とは、本プレゼンテーションに関して武田薬品工業株式会社（以下、「**武田薬品**」）によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本プレゼンテーションにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本プレゼンテーションは、（投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく）情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社 (we, us 及び our)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本プレゼンテーションに記載されている製品名は、武田薬品又は各所有者の商標又は登録商標です。

将来に関する見通し情報

本プレゼンテーション及び本プレゼンテーションに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets)」、「計画する (plans)」、「信じる (believes)」、「望む (hopes)」、「継続する (continues)」、「期待する (expects)」、「めざす (aims)」、「意図する (intends)」、「確実にする (ensures)」、「だろう (will)」、「かもしれない (may)」、「すべきであろう (should)」、「であろう (would)」、「かもしれない (could)」、「予想される (anticipates)」、「見込む (estimates)」、「予想する (projects)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。

これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、武田薬品が事業を行う国の政府を含む武田薬品とその顧客及び供給業者又は武田薬品の事業の他の側面に及ぼす影響、買収対象企業とのPMI（買収後の統合活動）の時期及び影響、武田薬品の事業にとっての非中核資産を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社による省エネルギーへの取り組み及び将来の再生可能エネルギー又は低炭素エネルギー技術の発展による当社の温室効果ガス排出量の削減の程度、武田薬品のウェブサイト (<https://www.takeda.com/investors/sec-filings/>) 又は www.sec.gov において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本プレゼンテーションに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本プレゼンテーションにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

財務情報及び国際会計基準に準拠しない財務指標

武田薬品の財務諸表は、国際会計基準（以下、「IFRS」）に基づいて作成されております。

本プレゼンテーションには、Core売上収益、Core営業利益、Core当期利益、Core EPS、CER（Constant Exchange Rate：恒常為替レート）ベースの増減、純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フローのように、IFRSに準拠しない財務指標が含まれています。当社経営陣は業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS及び本プレゼンテーションに含まれるIFRSに準拠しない財務指標に基づいて行っています。IFRSに準拠しない財務指標においては、最も良く対応するIFRS財務指標では含まれることとなる、又は異なる数値となる一定の利益、コスト及びキャッシュ・フロー項目を除外しております。IFRSに準拠しない財務指標を提供することで、当社経営陣は、投資家の皆様に対し、武田薬品の経営状況及びCore業績の更なる分析のための為替変動の影響を含む付加的な情報を提供したいと考えております。IFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標に代替するものではありません（IFRSに準拠する財務指標を「財務ベース」指標として参照している場合があります）。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、本プレゼンテーションの巻末に掲載した財務補足情報にて、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との照合を行っていただけますようお願い申し上げます。

為替

本プレゼンテーションでは、特に断りのない限り、利用者の便宜のために、日本円で表示された一部の金額をニューヨーク連邦準備銀行が2022年12月30日に認定した正午時点の買値レートである1米ドル=131.81円で米ドルに換算しています。これらの便宜的な換算に使用された買値レート及び換算方法は、当社の連結財務諸表に使用されるIFRSの換算レート及び換算方法とは異なります。これらの便宜的な換算は、関連する日本円のコストが当該買値レート又は他のレートで米ドルに換算されることを示すものではありません。

医療情報

2 本プレゼンテーションには、製品に関する情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

AGENDA

Introduction

クリストフ・ウェバー

代表取締役社長 CEO



パイプラインアップデート

アンディー・プランプ

リサーチ&開発
プレジデント



財務報告

コスタ・サルウコス

チーフ フィナンシャル オフィサー



質疑応答

世界中の人々の健康と、 輝かしい未来に貢献する



私たちはこの約束を胸に、
革新的な医薬品を創出し続けます。

PATIENT

すべての患者さんのために

- 私たちは、倫理観をもってサイエンスの革新性を追求します。そして、人々の暮らしを豊かにする医薬品の創出に取り組みます。
- 私たちの医薬品を、より多くの人々に迅速にお届けします

PEOPLE

ともに働く仲間のために

- 私たちは、理想的な働き方を実現します。

PLANET

いのちを育む地球のために

- 私たちは、自然環境の保全に寄与します

データとデジタルの力で、イノベーションを起こします

- サイエンスに基づき、もっとも信頼されるデジタルバイオ医薬品企業として、これからも変革し続けます。

私たちが大切にしている価値観であるタケダイズムとは、まず**誠実**であること。そして、**公正・正直・不屈**の精神で支えられています。

私たちはこれを道しるべとしながら、

1. 患者さんに寄り添い (**Patient**)
2. 人々と信頼関係を築き (**Trust**)
3. 社会的評価を向上させ (**Reputation**)
4. 事業を発展させる (**Business**)

を日々の行動指針とします。

2022年度第3四半期：戦略の実行を反映した業績



売上収益およびCoreベースの利益成長を実現

- 第3四半期累計のCore売上収益（CERベース）^{1, 2}は+4.5%となり、成長製品・新製品の+20%成長（CERベース）が牽引し力強く成長
- 第3四半期累計のCore営業利益率は31.1%
- 通期マネジメントガイダンスに向けて順調に進捗

2022年度第3四半期累計 業績サマリー

(億円、EPSを除く)	財務ベース		CORE ¹		
	2022年度 第3四半期累計	実勢レート ベース 増減率 (%)	2022年度 第3四半期累計	実勢レート ベース 増減率 (%)	CER ² ベース 増減率 (%)
売上収益	30,713	+13.9%	30,713	+19.8%	+4.5%
営業利益	4,019	△13.1%	9,547	+26.0%	+9.7%
EPS	184	+19.6%	456	+37.0%	+17.1%



革新的なパイプラインの進捗

- QDENGHAは、欧州において4歳以上を接種対象者として承認取得、米国食品医薬品局（FDA）より優先審査に指定
- 3つの良好な後期臨床試験データの読み出し：
 - 先天性血栓性血小板減少性紫斑病（cTTP）におけるTAK-755（臨床第3相試験中間解析）
 - 造血幹細胞移植後のサイトメガロウイルス感染の一次治療におけるLIVTENCITY（臨床第3相試験）
 - α-1アンチトリプシン欠乏症による肝疾患（AATD-LD）におけるTAK-999（fazirsiran）（臨床第2 b相試験）
- TAK-861は、臨床第2相試験に進むための事前に設定した基準を満たす
- ベストインクラスの可能性のある経口アロステリックTYK2阻害剤NDI-034858をNimbus Therapeutics社より取得する契約を締結
- VEGFR1/2/3 に高い選択性を有する経口チロシンキナーゼ阻害剤フルキンチニブに関して、全世界（中国を除く）を対象とした独占的ライセンス権をHUTCHMED社より取得する契約を締結

AGENDA

Introduction

クリストフ・ウェバー

代表取締役社長 CEO

パイプラインアップデート

アンディー・プランプ

リサーチ&開発

プレジデント



財務報告

コスタ・サルウコス

チーフ フィナンシャル オフィサー

質疑応答

2022年度第2四半期決算発表後の当社パイプラインアップデート



規制当局対応 アップデート	QDenga TAK-003	<ul style="list-style-type: none"> 欧州において承認を取得し、欧州医薬品庁のEU-M4all制度に参加しているデング熱流行国に対するCHMPの肯定的な見解 米国において申請、米国食品医薬品局（FDA）により優先審査指定 流行国での審査が進行中
臨床試験 アップデート	TAK-755	<ul style="list-style-type: none"> 先天性血栓性血小板減少性紫斑病（cTTP）の臨床第3相試験中間解析：標準治療と比較して良好な有効性と安全性プロファイル。米国での申請は2022年度を予定 2つのcTTPに対する症例報告が<i>New England Journal of Medicine</i>¹に掲載
	LIVTENCITY maribavir	<ul style="list-style-type: none"> 造血幹細胞移植後のサイトメガロウイルス感染の一次治療における臨床第3相AURORA試験は、主要評価項目を満たさなかったものの、持続的な抗ウイルス効果を示すとともに良好な安全性を確認 申請可能性に関して規制当局と連携中
	ICLUSIG ponatinib	<ul style="list-style-type: none"> フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ芽球性白血病の一次治療における臨床第3相PhALLCON試験で良好なデータを取得 本試験データは、規制当局と協議し、学会または論文で共有予定
	fazirsiran TAK-999	<ul style="list-style-type: none"> α-1アンチトリプシン欠乏症による肝疾患（AATD-LD）：臨床第2相SEQUOIA試験で良好な結果 臨床第3相試験²を2022年度中に開始予定
	TAK-861	<ul style="list-style-type: none"> 臨床第2相試験に進むための事前に設定した基準を満たす ナルコレプシータイプ1（NT1）およびナルコレプシータイプ2（NT2）対象の臨床第2b相試験³は、2023年1月に開始
	TAK-341	<ul style="list-style-type: none"> 多系統萎縮症（MSA）を対象とした臨床第2相試験を開始
事業開発	NDI-034858 ⁴	<ul style="list-style-type: none"> Nimbus Therapeutics社より後期開発段階のベストインクラスとなる可能性のある経口アロステリックTYK2阻害剤を取得予定 乾癬の臨床第2b相試験データは2023年3月に発表予定
	fruquintinib ⁵	<ul style="list-style-type: none"> HUTCHMED社よりVEGFR1/2/3 に高い選択性を有する経口チロシキナーゼ阻害剤フルキンチニブに関する全世界（中国を除く）を対象とした独占的ライセンス権を取得し、難治性・転移性大腸がんの適応症で2023年に米国、欧州および日本における申請を予定

1. N Engl J Med 2022; 387:2356-2361, N Engl J Med 2022; 387:2391-2392

2. Clinicaltrials.gov掲載のfazirsiranの臨床第3相試験：[NCT05677971](https://clinicaltrials.gov/ct2/show/study/NCT05677971)

3. Clinicaltrials.gov掲載のTAK-861の臨床第2b相試験：ナルコレプシータイプ1 [NCT05687903](https://clinicaltrials.gov/ct2/show/study/NCT05687903)、ナルコレプシータイプ2 [NCT05687916](https://clinicaltrials.gov/ct2/show/study/NCT05687916)

4. 本取引の完了は、1976年に制定されたハート・スコット・ロディノ法（HSR）などの独占禁止法に基づく審査が完了することが条件。NDI-034858は買収完了後、TAK-279と呼称予定

5. 本取引の完了には、各国の独占禁止法に基づく審査完了が必要

疾患名の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

新規候補物質の申請および適応拡大が期待される 10の後期開発段階プログラム



		2022年度	2023年度	2024年度	2025-27年度
オンコロジー	EXKIVITY (TAK-788) ★			1L NSCLC ¹ 申請目標	
	modakafusp alfa (TAK-573) ★		R/R MM Ph2 開始 ² ✓		R/R MM 申請目標
希少遺伝子疾患 および 希少血液疾患	LIVTENCITY (TAK-620) ★	1L CMV ³ 申請目標 (米国、欧州)	R/R CMV ³ 申請済 (中国) ✓	1L CMV + R/R CMV ³ 申請目標 (日本)	
	TAK-755 ★	cTTP 申請目標 (米国)	cTTP 申請目標 (欧州、日本、中国)	iTTP Ph2b 読み出し	iTTP 申請目標
	TAK-611 ★		MLD (IT) Ph2 読み出し ⁴		
	pabinafusp alfa (TAK-141) ★				Hunter Syndrome 申請目標
ニューロサイエンス (神経精神疾患)	soticlestat (TAK-935) ★			DS, LGS 申請目標	
消化器系疾患	fazirsiran (TAK-999) ★		AATD Liver Disease Ph3 開始		AATD Liver Disease 申請目標
ワクチン	NUVAXOVID (TAK-019)		COVID-19 Vaccine 承認済 (日本) ✓		
	QDENG A (TAK-003)		Dengue Vaccine 申請済 (米国) ✓		

- EGFRエクソン20挿入変異を有する非小細胞肺癌
- 再発/難治性の多発性骨髄腫に対する単剤および多剤併用療法を含む複数予定されている臨床第1/2相試験のうち、最初の試験を開始
- 移植後サイトメガロウイルス (CMV) 感染/感染症
- 単群の臨床第2相試験。データ取得後、タイムラインおよび申請を計画

- 少なくとも1つの適応症において、ブレイクスルーセラピー指定 (米国)、PRIME指定 (欧州)
- 少なくとも1つの適応症において、先駆け審査指定 (日本)、ブレイクスルーセラピー指定 (中国)
- ☆ 少なくとも1つの適応症において、希少疾病用医薬品 (オーファンドラッグ) 指定

後期開発プログラム：ピボタル試験を実施中または実施予定のプログラム、またはプルーフ・オブ・コンセプトを達成したプログラム。

- 承認
- 試験開始
- マイルストーン達成
- プルーフ・オブ・コンセプト/臨床第2相試験データ読み出し
- 申請目標：承認申請の予想時期

中期開発段階のパイプラインを引き続き推進



- 少なくとも1つの適応症において、先駆け審査指定（日本）、ブレイクスルーセラピー指定（中国）
- ☆ 少なくとも1つの適応症において、希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定
- ブルー・オブ・コンセプト データ読み出し目標

ブルー・オブ・コンセプト（POC）：POCの達成は、ピボタル試験または後期開発プログラムを開始するのに十分な臨床データが得られたことを意味する。

臨床試験データの「読み出し」とは、以下のいずれかの場合を指す：

(1) 該当する臨床データの取得、(2) 取得した臨床データに対する必要な分析およびレビューの完了、(3) (要請される場合または通常の慣例や実務慣行に基づく場合) 取得したデータについて該当する規制当局との協議

読み出しが複数のPOC試験に関連する適応症クラス（例、固形がん）を指す場合は、以下のいずれか早い方のタイミング：

(1) 当該適応症クラス初めてのPOC達成、または (2) 当該適応症クラスにおける全てのPOC試験の結果を取得

成長製品・新製品とその他主要製品の主要市場における ライフ・サイクル・マネジメントのマイルストーン予定



	2022年度	2023年度
 オンコロジー		ICLUSIG 申請目標 1L Ph+ ALL (米国)
		CABOMETYX 申請目標 CRPC (日本)
 希少遺伝子疾患 および 希少血液疾患	TAKHZYRO ✓ 申請済 小児HAE (米国、欧州)	TAKHZYRO 申請目標 BMA (米国)
 消化器系疾患	ENTYVIO ✓ 申請済 皮下注製剤 CD (日本)	ENTYVIO 申請目標 皮下注製剤 UC、CD (米国) ¹
		ALOFISEL 申請目標 複雑痔瘻 (米国)
 血漿分画製剤	HYQVIA 申請目標 CIDP (米国、欧州)	
	TAK-880 ✓ 申請済 RTU IgG低IgA (米国)	
	CUVITRU ✓ 申請済 PID、SID (日本)	

承認
 試験データ読み出し
 申請目標
 ✓ マイルストーン達成

1. 米国における潰瘍性大腸炎 (UC) に対するENTYVIO皮下注製剤は、2019年に米国食品医薬品局 (FDA) より審査完了通知 (CRL) を受領しており、再申請となる

10 全てのタイムラインは2023年2月2日時点におけるおおよその予測で、変更される場合があり、また臨床試験・承認申請の結果に左右されます。表中の研究開発マイルストーンは一部であり、包括的なものではありません。疾患名の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

2022年度における主な審査結果および臨床第3相試験データ読み出し予定



主な承認の可能性	QDENGА	デング熱ワクチン	欧州 承認 ¹ 流行国 承認 ¹	✓ ✓
	LIVTENCITY	移植後の治療抵抗性/難治性サイトメガロウイルス (CMV)	欧州 承認	✓
	EXKIVITY	プラチナ製剤ベースの化学療法の治療歴を有するEGFRエクソン20挿入変異非小細胞肺癌 二次治療	各国 承認 ² 欧州 申請取り下げ	✓ ×
	HYQVIA	HyHub AVA ³ デバイス	米国クリアランス ⁴	→

主な臨床第3相試験/ ピボタル試験読み出し	LIVTENCITY	造血幹細胞移植後のCMV感染の一次治療	臨床第3相試験	✓
	TAK-755	先天性血栓性血小板減少性紫斑病 (cTTP)	臨床第3相試験	✓
	ICLUSIG	Ph+急性リンパ性白血病の一次治療	臨床第3相試験	✓
	HYQVIA	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎 (CIDP)	臨床第3相試験	✓

1. QDENGАはインドネシア、欧州、アイスランド、ノルウェーおよび英国において承認済
 2. スイス、オーストラリア、韓国および中国
 3. HyHub：使い捨ての改良型無菌バイアルアクセス医療デバイスで、HyQviaのバイアルから皮下組織への投与を簡便化
 4. 規制当局の協議が進行中であり、米国食品医薬品 (FDA) による決定は2023年度上期を想定

✓ 2022年度第3四半期にマイルストーン達成
 ✓ 2022年度上期にマイルストーン達成

臨床試験データの「読み出し」とは、以下のいずれかの場合を指す：

- (1) 該当する臨床データの取得、(2) 取得した臨床データに対する必要な分析およびレビューの完了、(3) (要請される場合または通常の慣例や実務慣行に基づく場合) 取得したデータについて該当する規制当局との協議

TAK-755 : cTTPを対象とした初めてかつ唯一のピボタル臨床第3相試験において 良好な有効性および安全性が確認される



疾患背景

- cTTP は、生命を脅かす急性症状と患者さんを衰弱させる慢性症状を伴う血液凝固疾患
- cTTP : 有病率は百万人あたり2-6人であり、超希少疾患
- TAK-755は初めてのフォン・ヴィレブランド因子 (VWF) 切断プロテアーゼ (遺伝子組換えADAMTS13) の補充療法であり、TPPの根本原因に直接アプローチ

臨床第3相試験 中間解析

cTTPでの主要な結果 :

- 無作為化クロスオーバー臨床第3相試験
- 血小板減少事象の発現率
 - TAK-755 **60%の低減** vs. 標準治療 (SoC) ¹
- 治療に関連する有害事象の発現率

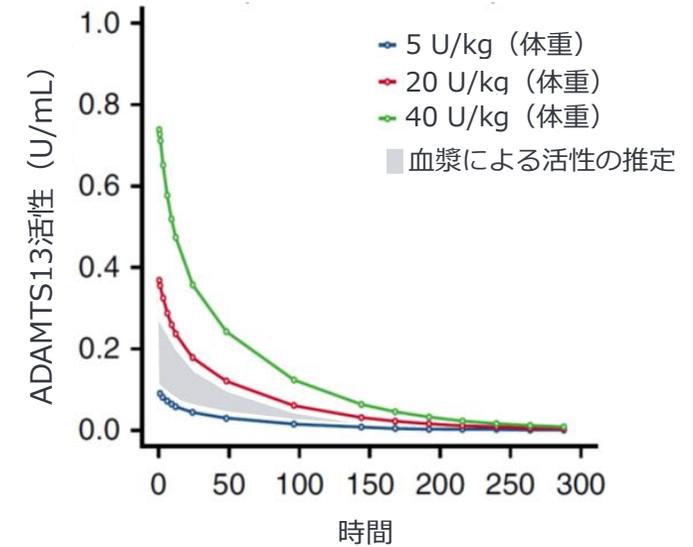
TAK-755	標準治療 (SoC)
8.9%	47.7%

今後の ステップ

- 2022年度に米国において申請予定
- 2023年度に欧州、日本および中国において申請予定
- 学会発表を予定
- 2022年度にiTTPを対象とした臨床第2相試験を開始予定

臨床第1相試験 : TAK-755投与後のADAMTS13の薬物動態

cTTPを対象としたTAK-755臨床第1相、非盲検、用量漸増試験²



- TAK-755の忍容性は良好で、重篤な副作用は認められなかった
- 抗ADAMTS13抗体は検出されず
- cTTP対象の臨床第3相試験では、40 U/kgを2週間隔または1週間隔で投与
- 血漿は一般的に10 U/kg相当の活性を示す (10 mL/kgで投与した場合)

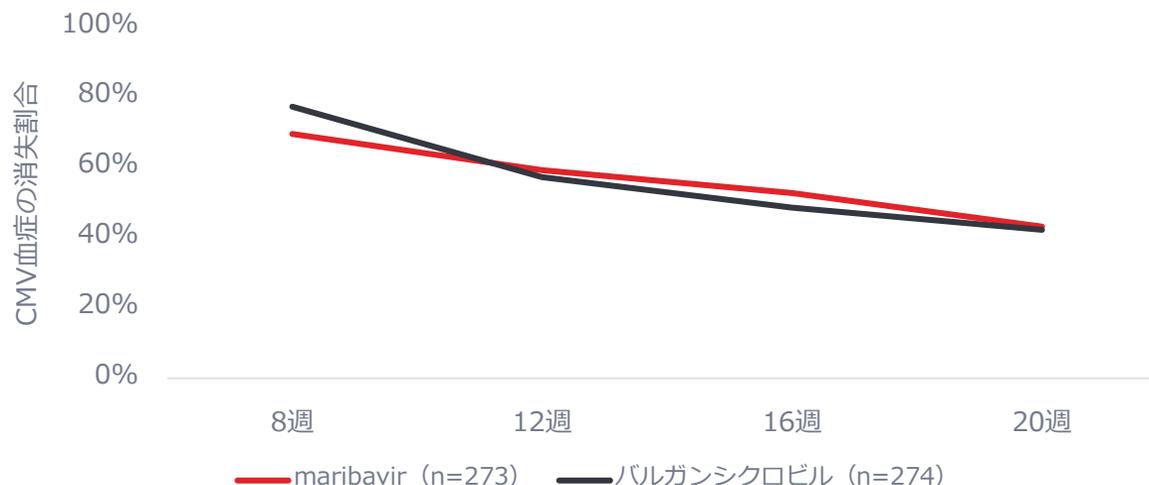
LIVTENCITY：造血幹細胞移植後サイトメガロウイルス（CMV）感染の一次治療における臨床第3相試験で臨床的意義のある持続的な効果を確認



AURORA試験の主要評価項目：8週時点でCMV血症の消失が確認された患者さんの割合 maribavir vs.バルガンシクロビル

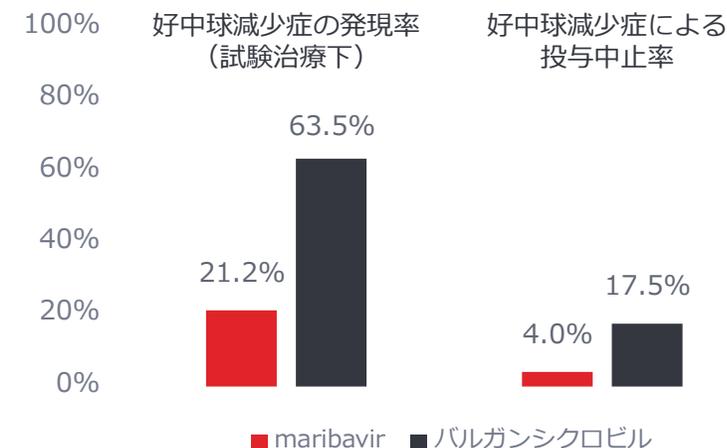
CMV感染の一次治療における主な結果

8週時点のCMV血症の消失割合：69.6% maribavir vs. 77.4% バルガンシクロビル
7%の非劣性マージンは満たさず



治療期終了後にあたる12週目、16週目（重要な副次評価項目）および20週目の評価において、maribavirの抗ウイルス効果の持続性を確認

Maribavirの良好な安全性を再確認



Maribavirにおいて最も多く報告された有害事象：悪心（27.5%）および味覚不全（25.6%）

今後のステップ

- ・ 規制当局と今後の方向性について協議
- ・ 全データを査読付きの学術誌に掲載予定

AGENDA

Introduction

クリストフ・ウェバー

代表取締役社長 CEO

パイプラインアップデート

アンディー・プランプ

リサーチ&開発

プレジデント

財務報告

コスタ・サルウコス

チーフ フィナンシャル オフィサー

質疑応答



第3四半期累計Core売上収益は+4.5%成長（CERベース）^{1、2}となり、力強い実績



2022年度第3四半期累計（4-12月）

トップライン

- Core売上収益 30,713億円（233億米ドル）^{1、3}+4.5%成長（CER²ベース）成長製品・新製品の+20%成長が牽引
- 財務ベース売上収益+13.9%成長 ビジネスの勢いおよび為替影響は、前年度に計上した日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却の影響を上回る

利益率

- Core営業利益 9,547億円（72億米ドル）^{1、3}+9.7%成長（CER²ベース）Core営業利益率は31.1%
- 財務ベース営業利益 4,019億円 前年度に計上した糖尿病治療剤ポートフォリオ売却による影響を受け△13.1%の減少

キャッシュ・フロー

- フリー・キャッシュ・フロー 5,852億円（44億米ドル）^{3、4}
- 純有利子負債/調整後EBITDA⁵ 2.5倍 年間配当金の支払いが完了してなお、2022年3月の2.8倍から減少

2022年度通期マネジメントガイダンスに向けて順調に進捗

- 売上収益、利益およびキャッシュ・フローは力強く、成長製品・新製品の勢いにより独占販売期間の満了によるマイナス影響を上回る

1. 定義はA-1ページ、調整表はA-7、A-9ページをご参照下さい。
2. CER：恒常為替レート。定義はA-1ページをご参照下さい。
3. 為替レートに関する免責事項は2ページをご参照下さい。

4. 定義はA-1ページ、調整表はA-11ページをご参照下さい。
5. 定義はA-2ページ、調整表はA-12~A-15ページをご参照下さい。

ビジネスの勢いによりCore (CER) ベースの力強い成長



2022年度第3四半期累計 (4-12月) 連結業績 (サマリー)

(億円、EPSを除く)	財務ベース	
	2022年度 第3四半期累計	実勢レートベース 増減率 (%)
売上収益	30,713	+13.9%
営業利益	4,019	△13.1%
営業利益率	13.1%	△4.1 pp
当期利益	2,859	+18.4%
EPS	184円	+19.6%
営業活動による キャッシュ・フロー	6,835	△8.6%
フリー・キャッシュ・フロー	5,852	△12.8%

Core		
2022年度 第3四半期累計	実勢レートベース 増減率 (%)	CERベース 増減率 (%)
30,713	+19.8%	+4.5%
9,547	+26.0%	+9.7%
31.1%	+1.5 pp	
7,072	+35.6%	+15.9%
456円	+37.0%	+17.1%

- キャッシュ・フローの前年同期比は、2021年度第1四半期の日本の糖尿病ポートフォリオ売却による1,314億円の収入が影響

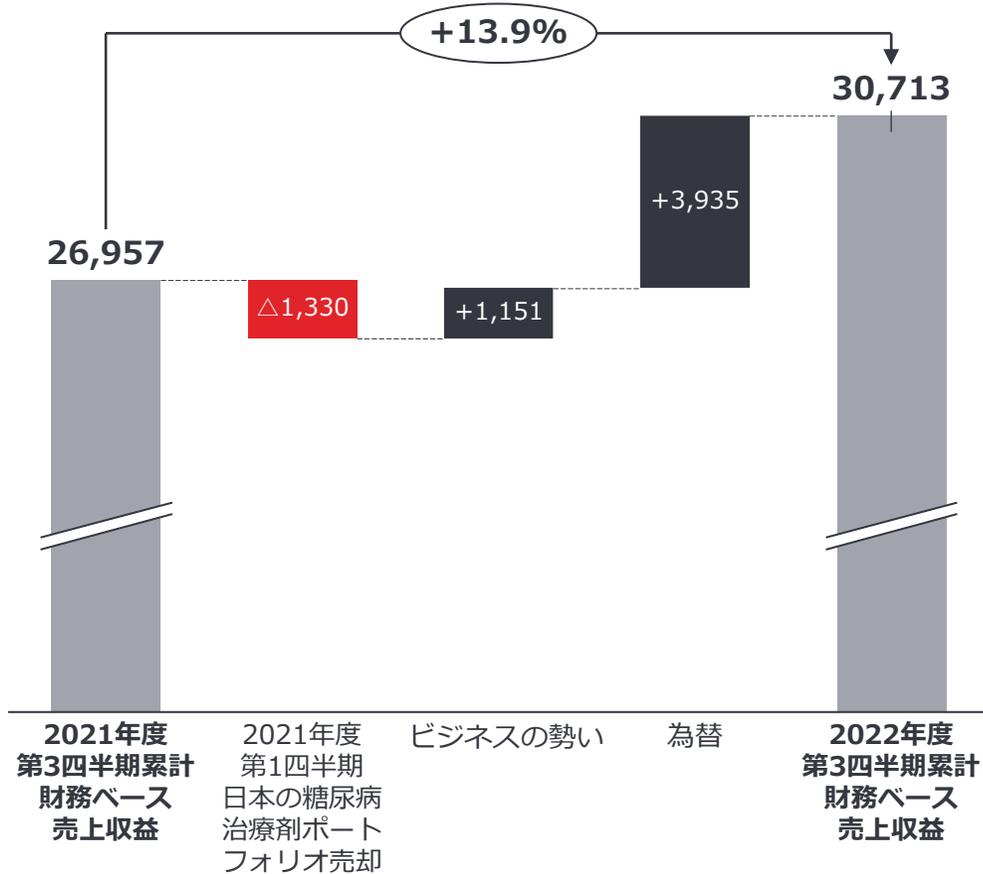
継続したビジネスの勢いおよび為替のプラス影響により、 力強い売上収益の成長



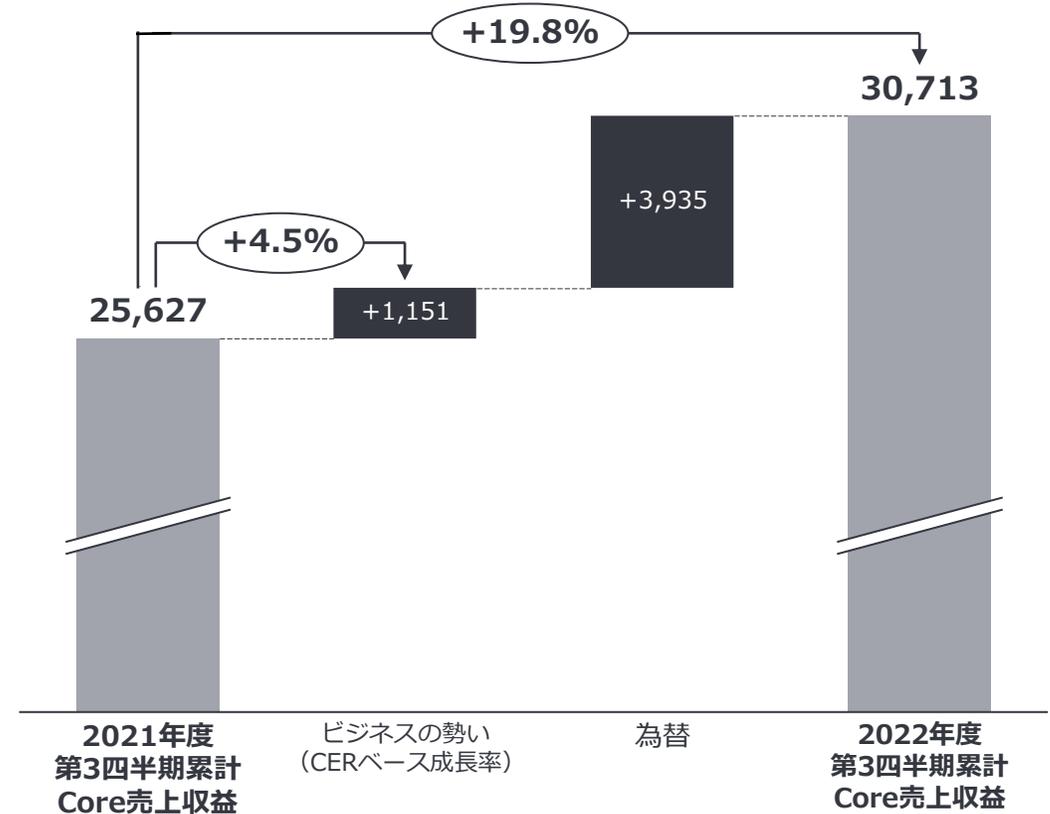
2022年度第3四半期累計 売上収益（対前年度）

財務ベース売上収益

(億円)



Core売上収益



上記は参考図
本スライドには国際会計基準に準拠しない財務指標が含まれます。定義および調整表は参考資料をご参照下さい。

成長製品・新製品の売上収益は、第3四半期累計+20%成長（CERベース）

2022年度
第3四半期累計
売上収益

	 消化器系疾患 対売上収益比：28% 対前年比：+11%	 希少疾患 対売上収益比：18% 対前年比：+5%	 血漿分画製剤 (PDT) 免疫疾患 対売上収益比：16% 対前年比：+18%	 オンコロジー 対売上収益比：11% 対前年比：△13%	 ニューロサイエンス (神経精神疾患) 対売上収益比：16% 対前年比：+10%	その他 対売上収益比：11% 対前年比：△11%
成長製品・ 新製品	 +17%	 +25%	 +19%	 +39%		 COVID-19 Vaccine Suspension for Intramuscular Injection (日本)
	 +35%	 新製品	 +20%	 新製品		 又バキソビッド [®] 筋注 Nuvaxovid [®] (日本)
2022年度第3四半期累計売上収益 計1兆1,996億円（91億米ドル）¹、昨年度比増分3,507億円（27億米ドル）¹						
その他 主要製品	Takecab/Vocinti [®] Gattex/Revestive [®]	Advate [®] Adynovate/Adynovi [®] Vonvendi [®] Elaprase [®] Vpriv [®] Replagal [®] (欧州、日本)	Glassia [®] Aralast [®]	Ninlaro [®] Iclusig [®] Adcetris [®] (北米を除く) Leuprorelin Zejula [®] (日本) Cabometyx [®] (日本)	Vyvanse [®] Trintellix [®] (米国、日本)	Azilva [®] (日本)

全ての成長率は第3四半期累計CERベースの対前年比。定義は参考資料をご参照下さい。

1. 為替レートに関する免責事項は2ページをご参照下さい。

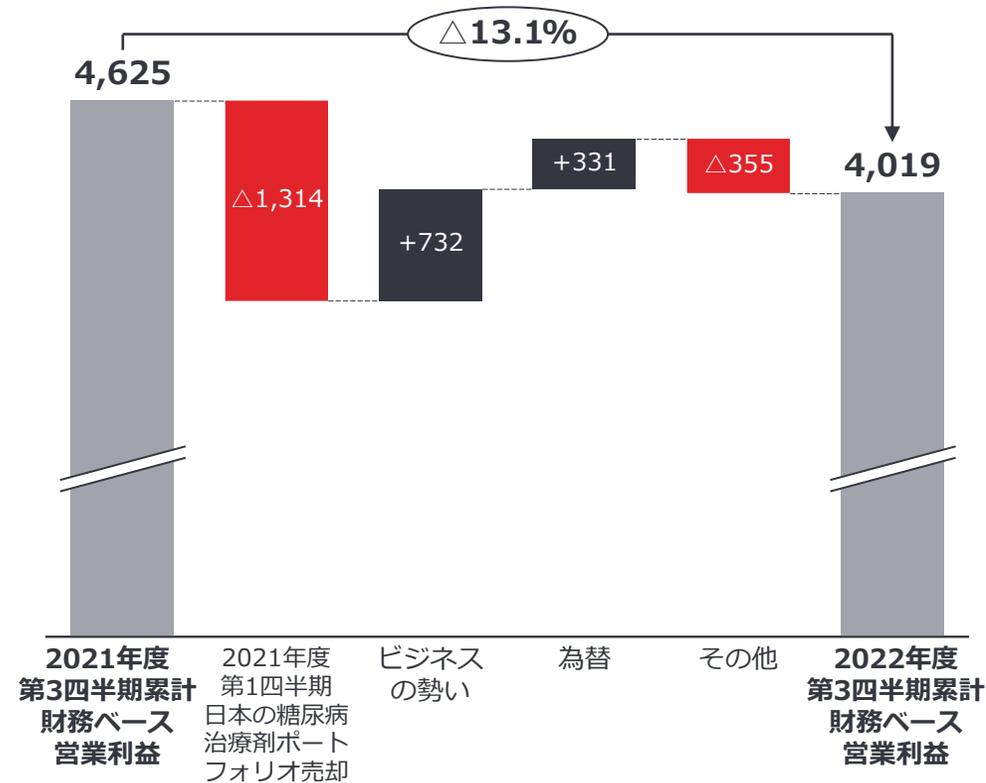
2022年度第3四半期累計 営業利益：Core営業利益+9.7%の成長（CERベース）



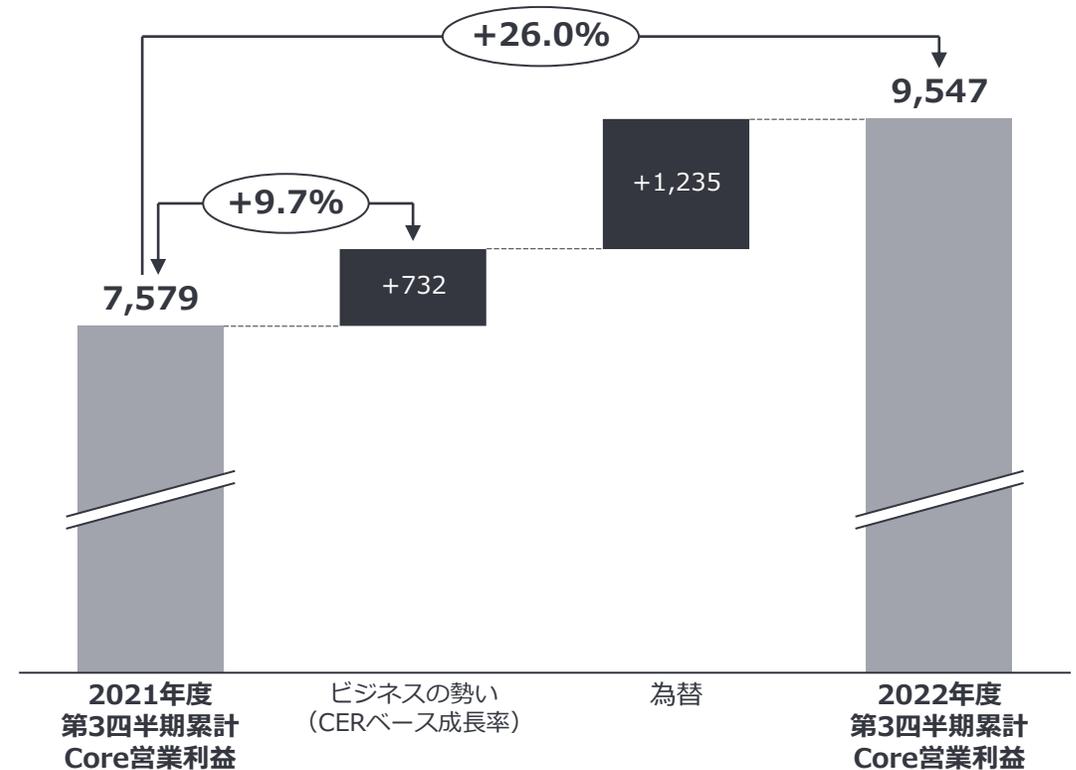
2022年度第3四半期累計 営業利益（対前年度）

財務ベース営業利益

(億円)



Core営業利益



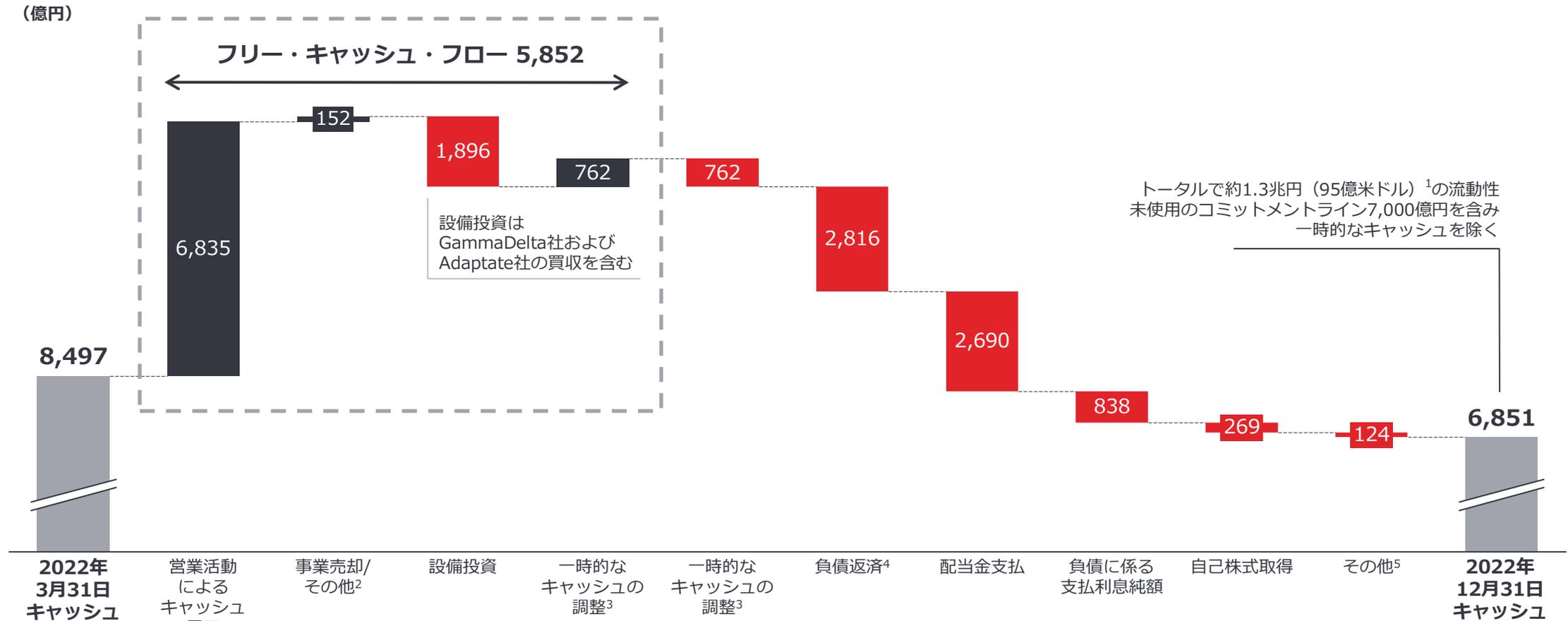
上記は参考図

本スライドには国際会計基準に準拠しない財務指標が含まれます。定義および調整表は参考資料をご参照下さい。

第3四半期累計のフリー・キャッシュ・フローは力強い5,852億円



2022年度第3四半期累計キャッシュ・フロー



本スライドには国際会計基準に準拠しない財務指標が含まれます。定義および調整表は参考資料をご参照下さい。

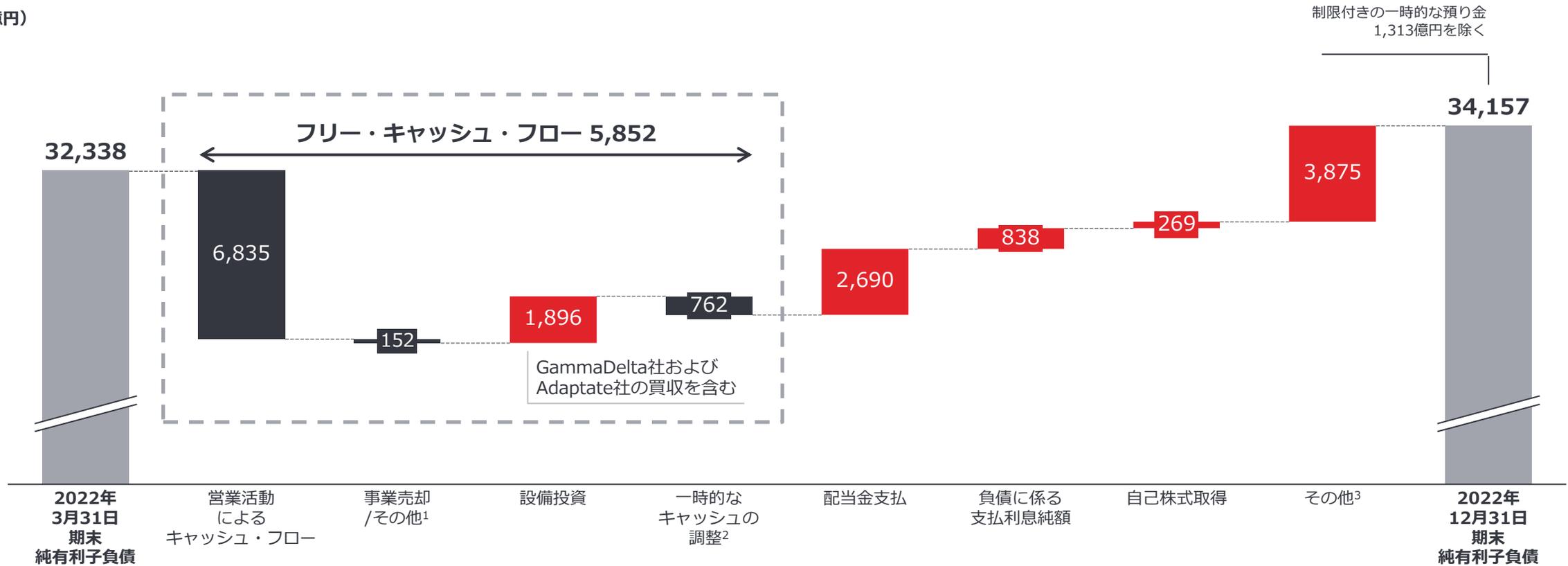
1. 為替レートに関する免責事項は2ページをご参照下さい。
2. 「事業売却/その他」には、有価証券の売却による収入と投資による支出を相殺した金額を含みます。
3. 「一時的なキャッシュの調整」は、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに關係して当社が第三者に代わり一時的に保有していた現金の変動を指します。一時的なキャッシュがフリー・キャッシュ・フローに影響しないようにするための調整です。
4. 「負債返済」は、主に1,461億円 (10億米ドルの2023年11月満期の米ドル建て社債 (利率4.4%))、1,086億円 (7.5億ユーロの2022年11月満期のユーロ建て社債 (変動金利 - 3カ月物 EURIBOR + 110bps)) および268億円 (2.19億米ドルの2022年6月満期の米ドル建て社債 (利率3.6%)) を指します。
5. 「その他」の項目は、為替影響、リース債務による支出および投資の取得を含みます。

純有利子負債/調整後EBITDAは2.5倍まで減少



純有利子負債の変化

(億円)



純有利子負債/
調整後EBITDA **2.8x**

2.5x

本スライドには国際会計基準に準拠しない財務指標が含まれます。定義および調整表は参考資料をご参照下さい。

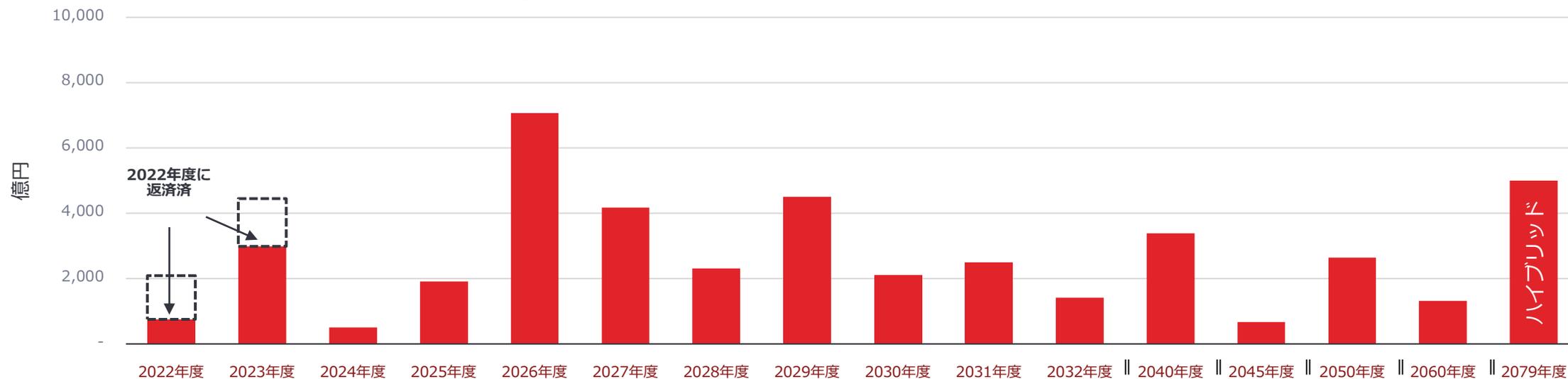
- 「事業売却/その他」には、有価証券の売却による収入と投資による支出を相殺した金額を含みます。
- 「一時的なキャッシュの調整」は、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関して当社が第三者に代わり一時的に保有していた現金の変動を指します。一時的なキャッシュがフリー・キャッシュ・フローに影響しないようにするための調整です。
- 資金性および非資金性の負債の帳簿価額の調整、リース債務および投資の取得を含みます。非資金性の調整には、負債の償却による変動および外貨建て負債を日本円に換算した場合の為替影響を含みます。

バランスのとれた負債の満期償還プロフィール

負債残高に占める固定金利負債の割合は100%で、加重平均金利は約2%



2022年12月31日時点のマチュリティラダー¹



加重平均金利：約2%（固定金利負債の割合は100%）

2022年度の負債返済：2022年6月満期 米ドル建て社債（利率3.6%）2.19億米ドル、
2022年11月満期 ユーロ建て社債（変動金利（3カ月物 EURIBOR + 110bps））7.5億ユーロ、
2023年11月満期 米ドル建て社債（利率4.4%）の10億米ドル

1. 2022年12月31日時点の額面残高の満期償還プロフィール。
外貨建て負債については、2022年12月末時点の為替レート（132.0円/米ドル、140.7円/ユーロ）で計算。この換算は、会計報告目的のために実際の変換レートを使用。

2022年度通期マネジメントガイダンス達成に向け順調に進捗 財務ベースおよびCOREベースの通期予想を維持



(億円、EPSを除く)	財務ベース		CORE		CORE成長率 (CERベース) 2022年度マネジメントガイダンス
	通期予想	対前年度	通期予想	対前年度	
売上収益	39,300	+10.1%	39,300	+14.9%	1桁台前半の成長
営業利益	5,300	+15.0%	11,800	+23.5%	1桁台後半の成長
EPS (円)	198円	+34.4%	525円	+23.6%	1桁台後半の成長

フリー・キャッシュ・フロー	6,500 - 7,500
---------------	---------------

1株当たり年間配当金	180円
------------	------

2022年度業績予想の主な前提:

- 当社は、COVID-19の流行の動向およびウクライナとロシアの危機に関する情勢について、2022年度の当社業績に対して重大な影響を及ぼすことはないとの現時点で入手可能な情報に基づき考えており、当社の2022年度業績予想およびマネジメントガイダンスはこの考え方を反映しています。
- 当社の2022年度業績予想およびマネジメントガイダンスには、約500億円のCOVID-19ワクチンによる売上収益への貢献を織り込んでいます。
- 業績予想は132円/米ドル、138円/ユーロを想定。為替の前提と感応度に関する詳細はスライドA-16をご参照下さい。
- フリー・キャッシュ・フローの予想には、Nimbus Therapeutics, LLCからのNDI-034858取得のための40億米ドルの一時金支払いを含め、公表しているものの取引が完了していない案件に係る支払時期は取引完了時期によるため、その影響額を含めておりません。

2022年度第3四半期累計（4月－12月）

見通し

トップライン

Core売上収益 +4.5%成長（CERベース）

- Core売上収益の成長（CERベース）は、「一桁台前半」の2022年度通期ガイダンスに向けて順調に進捗

利益率

Core営業利益 9,547億円
（+9.7%成長、CERベース）

Core営業利益率 31.1%

- Core営業利益の成長（CERベース）は、「一桁台後半」の2022年度通期ガイダンスに向けて順調に進捗

キャッシュ・フロー

フリー・キャッシュ・フロー 5,852億円

純有利子負債/調整後EBITDA 2.5倍

- 強固なキャッシュ・フローにより安定的な財務体質
- 負債残高の100%が固定金利負債であり、加重平均金利は約2%

QDENGGA投資家向けコール

2023年3月16日（木）午前8:00（日本時間）
2023年3月15日（水）午後7:00（米国東部時間）

2022年度決算発表 カンファレンスコール

2023年5月11日（木）
（詳細は後日連絡）

質疑応答



クリストフ・ウェバー
代表取締役社長 CEO



アンディー・プランプ
リサーチ&デベロップメント
プレジデント



コスタ・サルウコス
チーフ フィナンシャル
オフィサー



ラモナ・セケイラ
グローバルポートフォリオ ディビジョン
プレジデント

APPENDIX

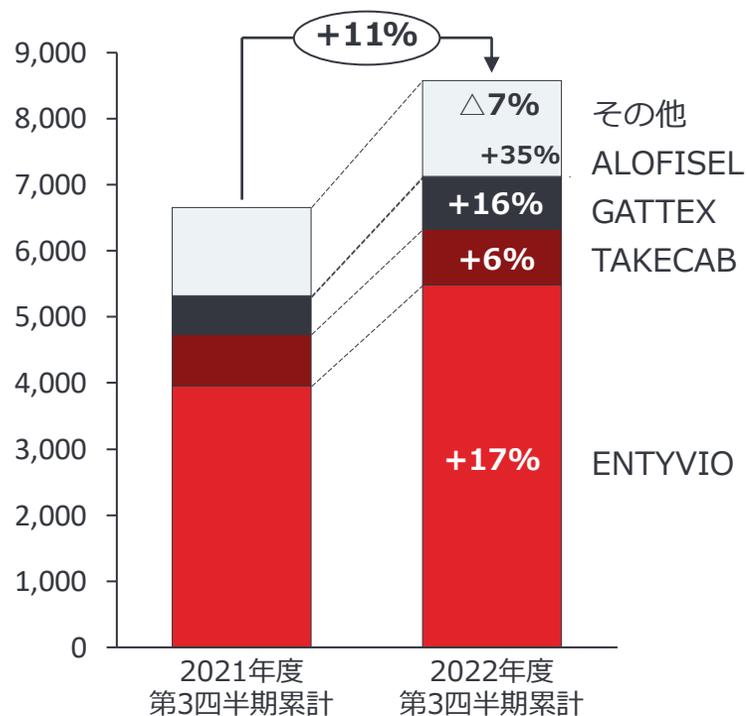


消化器系疾患フランチャイズは、力強い成長を継続し+11%成長

消化器系疾患 ポートフォリオ

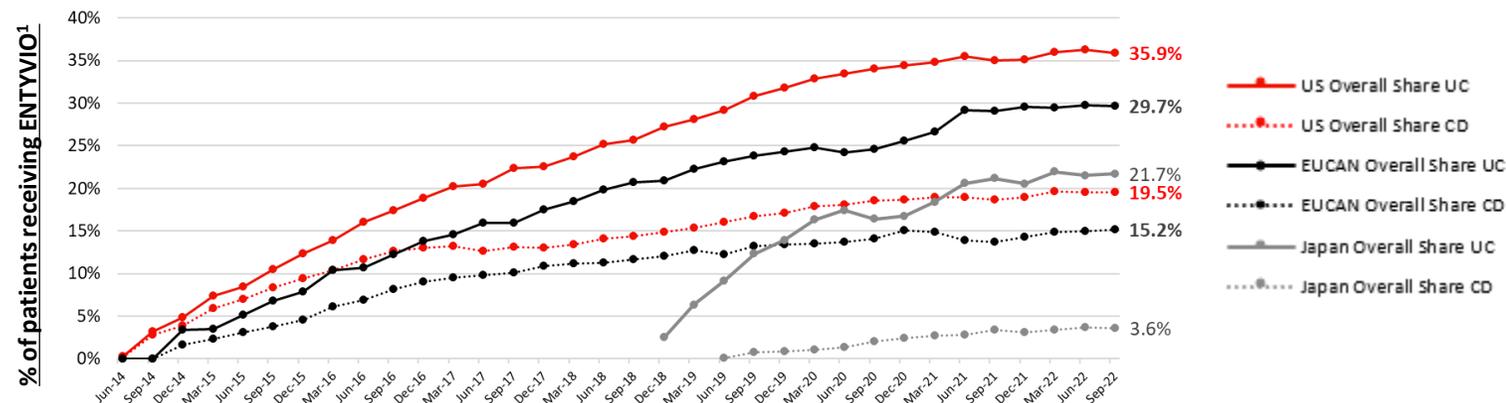
2022年度第3四半期累計 売上収益

(億円)



2022年度第3四半期累計売上収益 5,479億円 (+17.4%成長)

- COVID-19パンデミックの影響により生物学的製剤市場の成長が緩やかとなっている中、生物学的製剤ナイーブのセグメントにおける継続したシェア拡大が全市場内における成長を牽引
 - 米国：処方された治療薬として、生物学的製剤ナイーブの全患者さんにおいて18カ月以上、潰瘍性大腸炎の生物学的製剤ナイーブの患者さんにおいて3年以上にわたり第1位¹
 - 欧州：欧州での皮下投与製剤が順調に成長し、さらなる成長を牽引
- 継続的にデータを創出し、確固たるエビデンス構築を通じたライフ・サイクル・マネジメント戦略を推進
- 針なしデバイスの開発を継続しない戦略的な意思決定を下す



2022年度第3四半期累計売上収益 845億円 (+5.5%成長)

- 日本の制酸薬市場におけるマーケットリーダー
- 中国での堅調な立ち上がりも成長に大きく貢献

EUCAN：欧州・カナダ

1. 米国：SHA Medical and Pharmacy Claims data (2022年9月)；EUCAN：社内推定；日本：JMDC (2022年9月)
EUCANにおける市場シェアは前四半期までの算出方法から変更し、より正確に潰瘍性大腸炎とクローン病の患者割合を反映



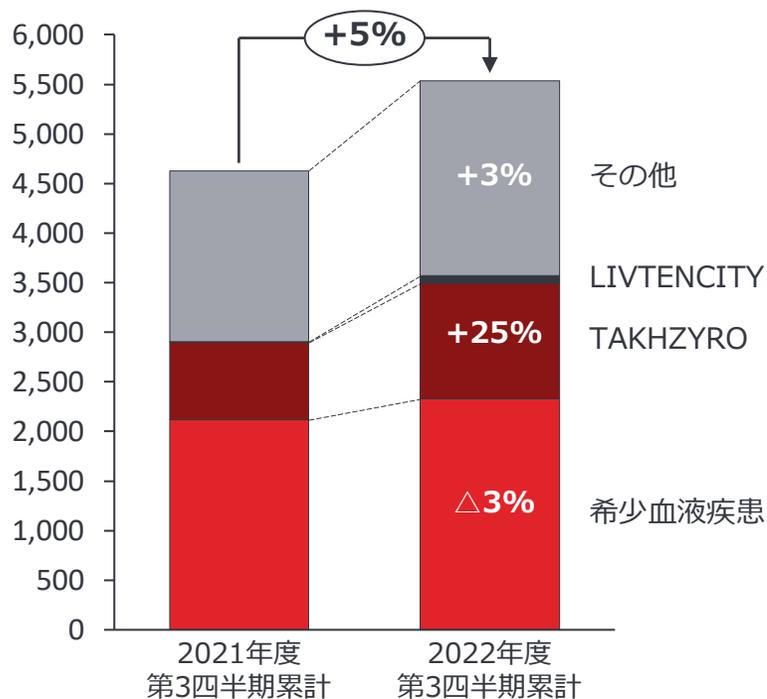
TAKHZYROはグローバルで4,000人以上の治療に使用されている LIVTENCITYの上市がポートフォリオを強化



希少疾患 ポートフォリオ

2022年度第3四半期累計 売上収益

(億円)



2022年度第3四半期累計 売上収益 1,169億円 (+25.1%成長)

- 患者さんは、遺伝性血管浮腫（HAE）の発作を効果的に予防するTAKHZYROのような選択肢を優先的に治療計画に取り入れる傾向がみられる
- TAKHZYROは、48カ国での上市と迅速な使用拡大に支えられ、グローバルで4,000人以上の治療に使用されている。強力な有効性のデータ、安全性プロファイルおよび2週間ごとまたは1ヵ月ごとの投与スケジュールが総合的に評価されている、予防治療におけるグローバルリーダー
- 米国では上市5年目にも関わらず強い需要が継続



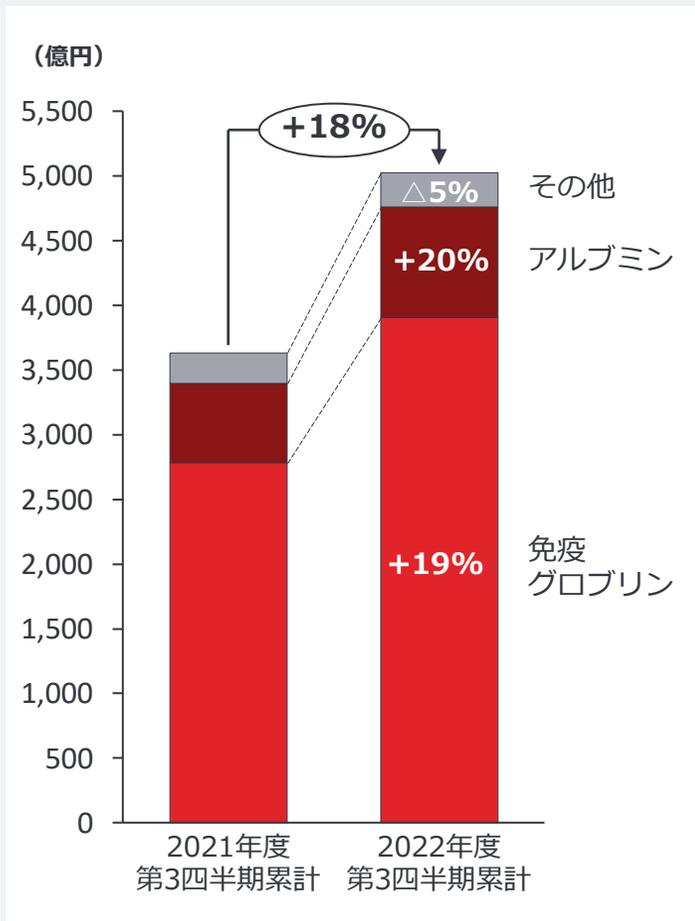
米国で2021年12月に販売開始後、順調に推移

- 全米の移植センターの87%において少なくとも1名の患者さんが治療を受け、そのうち約3分の2はこれまでLIVTENCITYによる臨床試験等を通じた治療経験がないケース
- 欧州委員会は2022年11月に移植後の既存療法のいずれか1種類以上に対して抵抗性（抵抗性無しも含む）を示す難治性のサイトメガロウイルス（CMV）感染／感染症の成人患者さんの治療薬として承認
- LIVTENCITYのグローバルな上市后、良好な市場アクセスの傾向および移植コミュニティから高い関心が寄せられていることを認識

血漿分画製剤ポートフォリオは引き続き卓越した成長を実現

血漿分画製剤（免疫疾患）ポートフォリオ

2022年度第3四半期累計 売上収益



免疫グロブリン製剤

2022年度第3四半期累計売上収益 3,905億円 (+18.9%成長)

- 米国を筆頭に、世界的に強い需要が継続しているとともに、安定的に供給が増加
- SCIGポートフォリオは継続的に拡大し、二桁台の成長率
- 2022年度は+10-20%（CERベース）ガイダンスの上限での成長を見込む
- HYQVIAのCIDPにおける臨床第3相試験の良好なデータを発表



アルブミン製剤

2022年度第3四半期累計売上収益 855億円 (+20.5%成長)

- 昨年に引き続き堅調に成長しており、特に差別化された製品であるFlexbuminに対し中国および米国において高い需要
- 2022年度は+10-20%（CERベース）ガイダンスの上限での成長を見込む



血漿収集センターへの投資継続

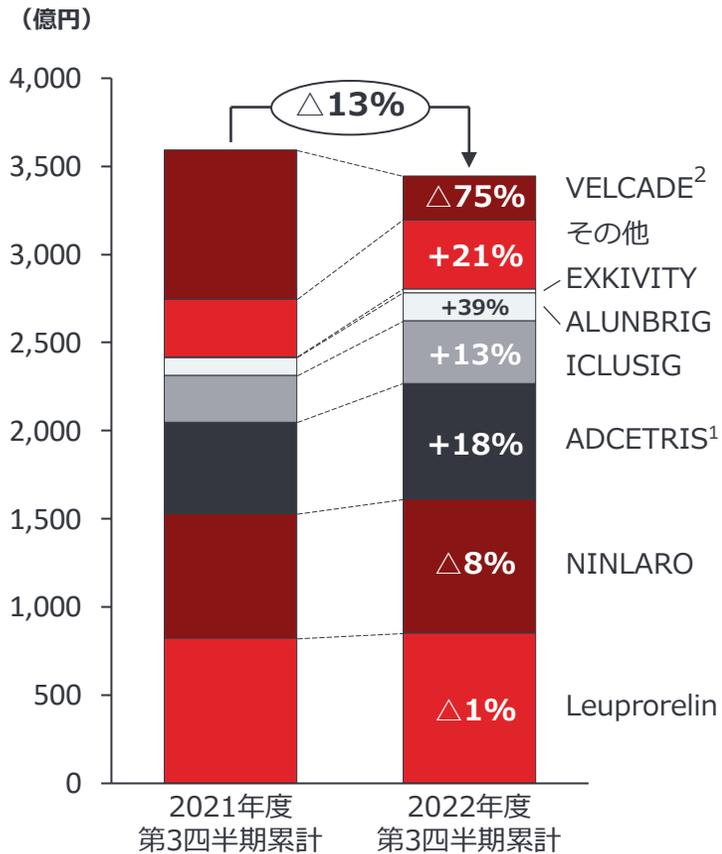
- 当社の血漿収集拠点は、2022年度第3四半期累計で計画通り21センター増加し、現在グローバルで225センター。2022年度中は、25センター以上の新規開設を計画
- 新規センターの継続的な増加および変革的な効率化改善により、血漿収集量の2022年度目標である対前年度+10-20%増加に向けて順調に進捗
- より持続可能なレベルでコスト削減と十分な血漿収集確保のバランスを図りながら、患者さんへのコミットメントを果たし、利益率の改善を目指す
- 血漿分画製剤の供給および製造能力を2023年度末までに65%以上増加（2018年ベースライン比）させるという目標に対して順調に進捗

SCIG：皮下注用免疫グロブリン製剤

オンコロジー領域の成長はVELCADEの後発品参入が影響 VELCADEを除くポートフォリオは+7%成長（CERベース）

オンコロジー ポートフォリオ

2022年度第3四半期累計 売上収益



1. ADCETRISはSeagen社より導入；北米外での開発・販売権を保有。
2. 2022年5月より米国市場において後発品の参入が開始



- EGFRエクソン20挿入変異を伴う非小細胞肺がんの適応症で中国において承認取得



- 中国の2022年国家医療保険償還医薬品リストに掲載
- 一次治療における新規投与患者さんの継続的な増加



- 米国では一次療法において承認された標的治療が現時点で存在せず、急速進行性の疾患であるフィラデルフィア染色体陽性急性リンパ芽球性白血病（Ph+ ALL）を対象とした臨床第3相PhALLCON試験の主要評価項目で良好な結果



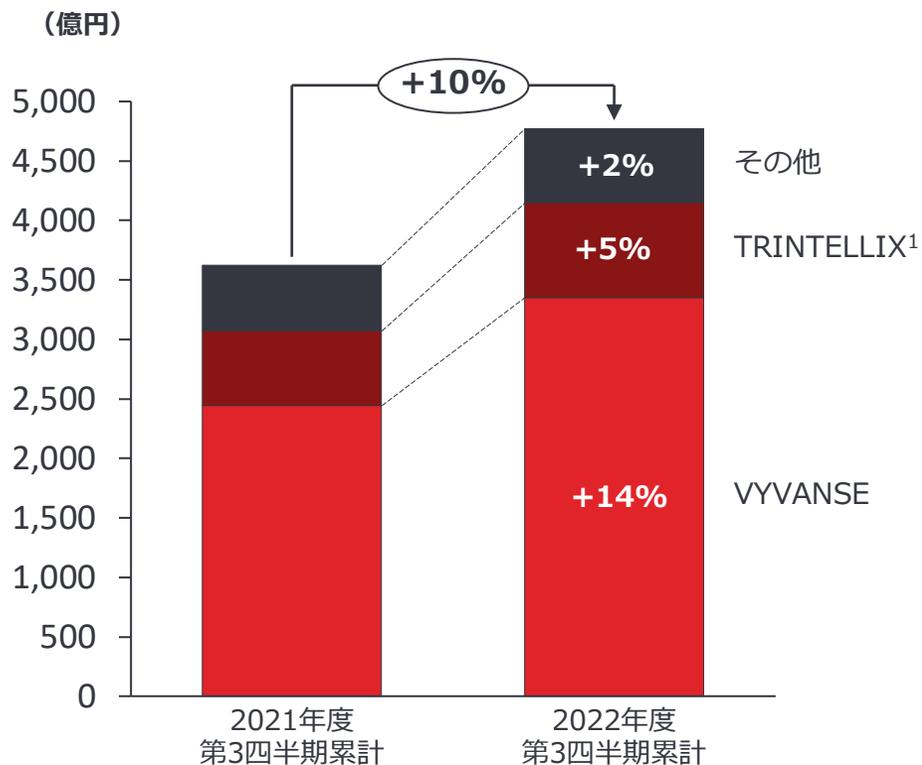
- 中国の2022年国家医療保険償還医薬品リストに掲載



- 英国国立医療技術評価機構（NICE）は、ニンラーロとレナリドミド/デキサメタゾンの併用療法を、二次または三次治療を終了した再発/難治性多発性骨髄腫の成人患者さんに対する治療選択肢として推奨

ニューロサイエンス ポートフォリオ

2022年度第3四半期累計 売上収益



2022年度第3四半期累計売上収益 3,354億円 (+13.5%成長)

- 2022年度の成長は、米国における成人ADHD市場の拡大が牽引
- 2023年8月の独占販売期間満了に先駆け、製品関連の営業経費を引き下げ



2022年度第3四半期累計売上収益 797億円 (+4.8%成長)

- 安価なジェネリック医薬品（市場の約99%を占める）が市場を牽引しており、パンデミック以来継続して不安障害の治療薬市場が大うつ病（MDD）を上回っている中で、米国における抗うつ剤市場の成長はパンデミック以前の水準（約1-2%）に戻った
TRINTELLIXの重点先である病院関係者に対する明確なメッセージの伝達と販売部門の活動により、2022年度末までに新規投与症例数および市場全体における需要の増加を想定
- 国内においては、精神科医の間で初回治療として選択される治療薬として確かなポジショニングが確立されつつあり、薬効市場内のTRINTELLIXのシェアが引き続き上昇

1. TRINTELLIXはLundbeck社より導入；米国と日本で共同販売権を保有。

ADHD：注意欠陥多動性障害

絶対値は国際会計基準（IFRS）財務ベース、
対前年比はCERベース（定義はA-1ページをご参照下さい）

臨床開発パイプライン一覧表 (フェーズ別)



	臨床第3相試験 (新規候補物質7種 + LCM22件)				申請 (新規候補物質1種 + LCM10件)		
 オンコロジー	★ EXKIVITY® 1L NSCLC EGFR exon 20	ICLUSIG® 1L Ph+ ALL (US)	CABOMETYX® mCRPC combo w/atezolizumab (JP)	ZEJULA® Breast cancer (JP)			
	★ NINLARO® Maint. ND MM no SCT (US, EU, CN)	★ NINLARO® Maint. ND MM post-SCT (US, EU)	relugolix Prostate cancer (JP, CN)				
 希少遺伝子疾患 および 希少血液疾患	★ TAK-755 cTTP	★ pabinafusp alfa Hunter Syndrome	★ LIVTENCITY® 1L CMV infect. in HSCT	★ LIVTENCITY® Post-transplant CMV infection (JP)	★ OBIZUR® Recomb antihemophilic factor porcine (JP)	★ OBIZUR® Recomb antihemophilic factor porcine (CN)	★ VONVENDI® vWD on-demand & surgery (CN)
	★ TAKHZYRO® BMA	★ VONVENDI® vWD Adult Prophylaxis (EU, CN)	★ VONVENDI® vWD on-demand & surgery	ADYNOVATE® recombinant Factor VIII Pediatric HemA (EU)		★ TAKHZYRO® Pediatric HAE (US, EU)	
 ニューロサイエンス (神経精神疾患)	★ soticlestat DS	★ soticlestat LGS					
 消化器系疾患	ENTYVIO® SC UC (US)	ENTYVIO® SC UC (US) ¹	★ ALOFISEL® Perianal Fistulas in CD (US)	★ ALOFISEL® Pediatric perianal Fistulas in CD		ENTYVIO® SC UC (JP)	ENTYVIO® SC CD (JP)
	ENTYVIO® Pediatric UC	ENTYVIO® Pediatric CD	★ ENTYVIO® GvHD Prophylaxis			VOCINTI® H. Pylori (CN)	
 血漿分画製剤	★ HYQVIA® CIDP (US, EU)	★ HYQVIA® CIDP, MMN (JP)	HYQVIA® PID (JP)	Prothromplex DOAC Reversal (US)		★ HYQVIA® HyHub AVA Device (US)	CUVITRU® PID, SID (JP)
						★ HYQVIA® Pediatric PID (US)	TAK-880 IgG – Low IgA
 ワクチン	Nuvaxovid® COVID-19 Vaccine Booster (JP)	QDENGAR® Dengue Vaccine Booster				QDENGAR® Dengue Vaccine (EU + endemic countries)	QDENGAR® Dengue Vaccine (US)

1. 2019年に米国食品医薬品局 (FDA) より審査完了通知 (CRL) を受領後、開発を継続中

2023年2月2日時点におけるステータスで、変更される場合があります。また臨床試験・承認申請の結果に左右されます。表中は包括的なものではありません。疾患名の略語用語集は参考資料をご参照ください。

★ 希少疾患用医薬品 (オフアンドラッグ) の指定の可能性 (いずれかの地域 / 適応症)

承認済

新規候補物質

LCM

臨床開発パイプライン一覧表 (フェーズ別)



	臨床第1相試験 (新規候補物質16種+LCM1件)					臨床第2相試験 (新規候補物質18種+LCM2件)				
 オンコロジー	TAK-102 Solid tumors	TAK-103 Solid tumors	TAK-186 EGFR Solid Tumor ¹	TAK-940 CD19+ hematologic malignancies	★ modakafusp alfa Solid tumors	★ modakafusp alfa R/R MM	★ subasumstat Multiple cancers	★ TAK-007 CD19+ hematologic malignancies		
	TAK-500 Solid tumors	TAK-676 Solid tumors	TAK-280 B7-H3 Solid Tumor ¹	ICLUSIG® Pediatric Ph+ ALL						
 希少遺伝子疾患 および 希少血液疾患	★ TAK-755 SCD	★ mezagitamab IgAN				★ mezagitamab MG	★ mezagitamab ITP	★ TAK-611 MLD (IT)	★ TAK-755 iTTP	
 ニューロサイエンス (神経精神疾患)	★ TAK-925 Post-anesthesia recovery	★ TAK-594 Frontotemporal dementia ¹	TAK-920 Alzheimer's Disease			★ TAK-861 NT1 ²	TAK-071 Parkinson's Disease	TAK-041 Anhedonia in MDD	TAK-653 Inadequate resp. in MDD	
						★ TAK-861 NT2 ²	★ TAK-341 MSA			
 消化器系疾患	TAK-105 Nausea & vomiting	sibofimloc Luminal Crohn's Disease				TAK-101 Celiac Disease	TAK-954 POGD	★ fazirsiran AATD-Associated Liver Disease	TAK-951 Nausea & vomiting	
						TAK-227 Celiac Disease	zamaglutinase TAK-062 Celiac Disease	sibofimloc Crohn's Disease (Post-op Ileitis)		
 血漿分画製剤						CEPROTIN® SCPCD (JP)	TAK-881 Immunodeficiencies			
 ワクチン	TAK-426 Zika Vaccine									

1. 現在、臨床第1/2相試験の第1相パート
2. 患者登録中の試験

★ 希少疾患用医薬品（オーファンドラッグ）の指定の可能性
 (いずれかの地域 / 適応症)

新規候補物質

LCM

略語の用語集



地域に関する略語:

CN: 中国; EU: 欧州; JP: 日本; US: 米国

AATD	α 1-antitrypsin deficiency (α 1アンチトリプシン欠乏症)	DLBCL	diffuse large B cell lymphoma (びまん性大細胞型B細胞リンパ腫)	MAOB	monoamine oxidase B (モノアミン酸化酵素B)	PONV	post-operative nausea and vomiting (術後の悪心・嘔吐)
AATD-LD	α 1-antitrypsin deficiency associated liver disease (α -1アンチトリプシン欠乏症による肝疾患)	DOAC	direct oral anti-coagulation (直接作用型経口抗凝固薬)	MDD	major depressive disorder (大うつ病)	PRIME	Priority medicines scheme by EMA (EMAによる優先審査制度)
ADAMTS13	a disintegrin-like and metalloproteinase with a thrombospondin type 1 motifs 13 (トロンボスポンジン1型モチーフ13を有するディスインテグリンおよびメタロプロテイナーゼ)	DS	Dravet syndrome (ドラベ症候群)	MG	myasthenia gravis (重症筋無力症)	PTCL	peripheral T-cell lymphoma (末梢性T細胞リンパ腫)
ADHD	attention deficit hyperactivity disorder (注意欠陥多動性障害)	EE H	erosive esophagitis healing (びらん性食道炎の治癒)	MLD	metachromatic leukodystrophy (異染色性白質ジストロフィー)	PTH	parathyroid hormone (副甲状腺ホルモン)
ALK	anaplastic lymphoma kinase (未分化リンパ腫キナーゼ)	EE M	erosive esophagitis maintenance (びらん性食道炎の再発予防)	MM	multiple myeloma (多発性骨髄腫)	R/R	relapsed/refractory (再発/難治性)
ALCL	anaplastic large-cell lymphoma (未分化大細胞型リンパ腫)	EGFR	epidermal growth factor receptor (上皮増殖因子受容体)	MMN	multifocal motor neuropathy (多巣性運動ニューロパチー)	RCC	renal cell cancer (腎細胞がん)
ALL	acute lymphocytic leukemia (急性リンパ性白血病)	EMA	European Medicines Agency (欧州医薬品庁)	mNSCLC	metastatic non-small cell lung cancer (転移性非小細胞肺癌)	RTU	ready to use (調製済み)
AVA	advanced vial access (改良型バイアルアクセス)	EU-M4all	EU-Medicines for all	MSA	multiple system atrophy (多系統萎縮症)	sALCL	systemic anaplastic large cell lymphoma (全身性未分化大細胞リンパ腫)
BBB	blood brain barrier (血液脳関門)	FDA	the U.S. Food & Drug Administration (米国食品医薬品局)	NBE	new biological entity (新規生物学的製剤)	SBS	short bowel syndrome (短腸症候群)
BLA	biologics license application (生物製剤承認申請)	FL	front line (フロントライン適応)	NCE	new chemical entity (新規化合物)	SC	subcutaneous formulation (皮下投与製剤)
BMA	bradykinin mediated angioedema (ブラジキニン介在性血管性浮腫)	FSI	first subject in (最初の患者登録)	ND	newly diagnosed (新たに診断された)	SCD	sickle cell disease (鎌状赤血球症)
BTD	breakthrough therapy designation (画期的新薬指定)	FY	fiscal year (年度)	NDA	new drug application (新薬承認申請)	SCPCD	severe congenital protein C deficiency (重症先天性プロテインC欠乏症)
CAR-T	chimeric antigen receptor-T (次世代型キメラ抗原受容体発現T細胞)	GI	gastrointestinal (胃腸)	NEJM	New England Journal of Medicine	SCT	stem cell transplant (幹細胞移植)
CD	Crohn's disease (クローン病)	GU	gastric ulcer (胃潰瘍)	NHL	non-Hodgkin's lymphoma (非ホジキンリンパ腫)	SID	secondary immunodeficiency (続発性免疫不全)
CHMP	Committee for Medicinal Products for Human Use (欧州医薬品委員会)	GvHD	graft versus host disease (移植片対宿主病)	NK	natural killer (ナチュラルキラー)	SLE	systemic lupus erythematosus (全身性エリテマトーデス)
CHMP	chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	HAE	hereditary angioedema (遺伝性血管浮腫)	NME	new molecular entity (新規候補物質)	SOC	standard of care (標準治療)
CIDP	chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	H2H	head to head (直接比較)	NMPA	(China's) National Medical Products Administration (中国国家薬品监督管理局)	STING	stimulator of interferon genes (インターフェロン遺伝子刺激因子)
CLL	chronic lymphocytic leukemia (慢性リンパ性白血病)	HemaA	hemophilia A (血友病A)	NSCLC	non-small cell lung cancer (非小細胞肺癌)	SUMO	small ubiquitin-related modifier (低分子ユビキチン様修飾因子)
CML	chronic myeloid leukemia (慢性骨髄性白血病)	HL	Hodgkin's lymphoma (ホジキンリンパ腫)	NSCT	non stem cell transplant (非幹細胞移植)	TCE	T-cell engager (T細胞誘導療法)
CMV	cytomegalovirus (サイトメガロウイルス)	HSCT	hematopoietic stem cell transplant (造血幹細胞移植)	NT1 or NT2	narcolepsy Type 1 (ナルコレプシータイプ1) or narcolepsy Type 2 (ナルコレプシータイプ2)	TE	Treatment emergent (治療関連)
CNS	central nervous system (中枢神経系)	IBD	inflammatory bowel disease (炎症性腸疾患)	ORR	overall response rate (全奏効率)	TKI	tyrosine kinase inhibitor (チロシンキナーゼ阻害剤)
CPF	complex perianal fistulas (複雑痔瘻)	IgAN	immunoglobulin A nephropathy (IgA腎症)	OSA	obstructive sleep apnea (睡眠時無呼吸症候群)	TREM2	triggering receptor expressed on myeloid cells 2
CRC	colorectal cancer (大腸がん)	IH	idiopathic hypersomnia (特発性過眠症)	PARP	poly (ADP-ribose) polymerase (ポリADPリボースポリメラーゼ)	TTP	thrombotic thrombocytopenic purpura (血栓性血小板減少性紫斑病)
CRL	complete response letter (審査完了報告通知)	INCAT	Inflammatory neuropathy cause and treatment disability score (INCATスコア)	PAS	prior approval supplement (重大な変更: 事前変更申請)	TYK2	tyrosine kinase 2 (チロシンキナーゼ2)
CRPC	castrate-resistant prostate cancer (去勢抵抗性前立腺がん)	IND	investigational new drug (治験薬)	PCD	protein C deficiency (プロテインC欠乏症・異常症)	UC	ulcerative colitis (潰瘍性大腸炎)
CTCL	cutaneous T Cell Lymphoma (皮膚T細胞性リンパ腫)	iNHL	indolent non-Hodgkin's lymphoma (低悪性度非ホジキンリンパ腫)	PEX	plasma exchange (血漿交換)	VEGFR	vascular endothelial growth factor receptors (血管内皮増殖因子受容体)
cTTP	congenital thrombotic thrombocytopenic purpura (先天性血栓性血小板減少性紫斑病)	ITP	immune thrombocytopenic purpura (免疫性血小板減少性紫斑病)	Ph+ ALL	Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia (フィラデルフィア染色体陽性ヒト急性リンパ性白血病)	VCD	virologically confirmed dengue (ウイルス学的に確認されたデングウイルス感染症)
DEE	developmental and epileptic encephalopathies (けいれん性てんかん重積状態)	iTTP	immune thrombotic thrombocytopenic purpura (免疫性血栓性血小板減少性紫斑病)	PID	primary immunodeficiency (原発性免疫不全)	vWD	von Willebrand disease (フォン・ヴィレブランド病)
		IV	intravenous (静脈投与)	PK	pharmacokinetics (薬物動態)	vWF	von Willebrand factor (フォン・ヴィレブランド因子)
		iPSC	induced pluripotent stem cells (人工多能性幹細胞)	PMDA	Japan's Pharmaceuticals and Medical Devices Agency (医薬品医療機器総合機構)	WW	Worldwide (全世界)
		LSD	lysosomal storage disorder (ライソゾーム病)	POC	proof of concept (概念実証)		
		LCM	lifecycle management (ライフ・サイクル・マネジメント)	POGD	post-operative gastrointestinal dysfunction (術後消化器機能障害)		
		LGS	Lennox-Gastaut Syndrome (レノックス・ガストー症候群)				
		mAb	monoclonal antibodies (モノクローナル抗体)				
		mCRC	metastatic colorectal cancer (転移性大腸がん)				
		mCRPC	metastatic castrate-resistant prostate cancer (転移性去勢抵抗性前立腺がん)				

財務補足資料



国際会計基準に準拠しない財務指標の定義

Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フローの定義 [A-1](#)

EBITDA、調整後EBITDA、純有利子負債の定義 [A-2](#)

調整表およびその他の財務情報

2022年度第3四半期累計 財務ベース業績 実勢レート・CERベース増減率 [A-3](#)

2022年度第3四半期（10-12月） 財務ベース業績 実勢レート・CERベース増減率 [A-4](#)

2022年度第3四半期累計 Core業績 実勢レート・CERベース増減率 [A-5](#)

2022年度第3四半期（10-12月） Core業績 実勢レート・CERベース増減率 [A-6](#)

2022年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表 [A-7](#)

2022年度第3四半期（10-12月） 財務ベースからCoreへの調整表 [A-8](#)

2021年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表 [A-9](#)

2021年度第3四半期（10-12月） 財務ベースからCoreへの調整表 [A-10](#)

フリー・キャッシュ・フロー [A-11](#)

2022年度第3四半期累計 純有利子負債/調整後EBITDA [A-12](#)

2021年度 純有利子負債/調整後EBITDA [A-13](#)

2022年度第3四半期累計 および2021年度第3四半期累計 当期利益からEBITDA/調整後EBITDAへの調整 [A-14](#)

2022年度第3四半期累計 当期利益からEBITDA/調整後EBITDA（LTM）への調整 [A-15](#)

為替レートおよび2022年度の為替感応度 [A-16](#)

資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失 [A-17](#)

2022年度業績予想（詳細） [A-18](#)

2022年度Core営業利益調整項目とキャッシュ・フロー予想 [A-19](#)

2022年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表 [A-20](#)

Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フローの定義



Core売上収益は、売上収益から、重要性のある本業に起因しない（非中核）事象による影響を控除して算出します。

Core営業利益は、当期利益から、法人所得税費用、持分法による投資損益、金融損益、その他の営業収益及びその他の営業費用、製品に係る無形資産償却費及び減損損失を控除して算出します。その他、非定期的な事象に基づく影響、企業買収に係る会計処理の影響や買収関連費用など、本業に起因しない（非中核）事象による影響を調整します。

Core EPSは、当期利益から、Core営業利益の算出において控除された項目と営業利益以下の各科目のうち、非定期的もしくは特別な事象に基づく影響、本業に起因しない（非中核）事象による影響を調整します。これらには、条件付対価に係る公正価値変動（時間的価値の変動を含む）影響などが含まれます。さらに、これらの調整項目に係る税金影響を控除した後、報告期間の自己株式控除後の平均発行済株式総数で除して算出します。

CER (Constant Exchange Rate : 恒常為替レート)ベースの増減は、当期の財務ベースの業績もしくはCore業績について、前年同期に適用した為替レートをを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。

当社が、**フリー・キャッシュ・フロー**をお示しする理由は、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行うに際して頻繁に用いられる流動性についての同様の指標として、本指標が投資家の皆様にとって有用であると考えているためです。本指標は、当社の経営陣が特に流動性要件を満たす能力及び資本配分方針をサポートする能力に関連している、当社の流動性及びキャッシュ・フローを評価する際にも使用しています。また、本指標は、投資家の理解にとって、当社の非中核事業及び投資ポートフォリオの戦略的な売却がどのようにキャッシュ・フローや流動性に貢献しているかを理解するうえで有用であると考えています。

当社のフリー・キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローから、有形固定資産の取得、無形資産の取得、投資の取得及び即時的または一般的な業務用に使えないいかなるその他の現金を控除し、有形固定資産の売却による収入、投資や事業の売却による収入、売却による現金及び現金同等物の純額を加算し、調整しています。

フリー・キャッシュ・フローの有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i) 製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得るもので、(ii) 当社の、資本の使用又は配分を必要とする現在及び将来の契約上その他のコミットメントの影響は反映されていません、(iii) 投資や事業の売却による収入、売却による現金及び現金同等物の純額を加算分は、中核事業となる継続的な事業からの収入は反映していません。フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに基づく指標である営業活動によるキャッシュ・フロー及びその他の流動性指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローが最も類似します。

EBITDA、調整後EBITDA、純有利子負債の定義



EBITDA及び調整後EBITDA

当社がEBITDA及び調整後EBITDAをお示しする理由は、これらの指標が証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行う際に頻繁に用いられるものであり、有用と考えられることにあります。また、調整後EBITDAは、変化に富み予測が困難であるが故に経営とは無関係な諸要素により不透明となり、業績に実質的な影響を与え得る、また、継続的に期間毎の業績を評価することに困難にし得る事業全体の動向を、投資家の皆様が把握する際に有用と考えられます。

EBITDA及び調整後EBITDAは、IFRSに基づく指標である営業利益及び当期利益等の業績指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。これらの指標は、他社において示されている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠けています。

EBITDA及び調整後EBITDAの有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i)製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠けて得るものです。また、(ii)業績評価において重視され得る一定の財務情報、例えば、企業買収や無形資産の償却による影響を除外しております。さらに、(iii)一定期間において継続して生じ得る一定の事項を除外しており、また、(iv)投資家において当社の長期的な観点からの経営には無関係ととらえる事項を必ずしも除外していません。これらのIFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠する当期利益（損失）と同視してはならず、また、これらに代わるものにとらえてはなりません。投資家の皆様におかれましては、当社の財務諸表全体を把握し、当社業績、事業価値及び収益予想を評価する基礎となる指標としてはIFRS準拠財務指標に依拠し、また、EBITDA及び調整後EBITDAは補足的な指標として用いられるようお願い申し上げます。

当社においては、EBITDAは、法人所得税費用、減価償却費及び償却費、並びに純支払利息控除前の連結当期利益を指します。また、調整後EBITDAは、減損損失、その他の営業収益・費用（減価償却費及び償却費を除く）、金融収益・費用（純支払利息を除く）、持分法による投資損益及び企業結合会計影響や取引関連費用などの当社の中核事業に関連しないその他の項目を除外するように調整されたEBITDAを指します。

IFRSに準拠した指標の中では当期利益が最も類似します。IFRSにおいて最も類似した指標との照合については、当期利益からEBITDA/調整後EBITDAへの調整をご参照下さい。

純有利子負債

当社が、純有利子負債をお示しする理由は、当社の経営陣が、当社の負債、現金及び現金同等物をモニター及び分析するために本指標を使用し、また当社のレバレッジをモニターするために本指標を調整後EBITDAと併せて使用しており、投資家の皆様にとって有用であると考えているためです。また、負債についての同様の指標が、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行う際に頻繁に用いられるものであると考えています。

当社の純有利子負債は、以下により算出しています。まず、連結財政状態計算書に記載されている社債及び借入金の流動部分と非流動部分合計を計算します。その上で、(i) 期初に残存する外貨建て負債を直近12か月の期中平均レートを用いて換算し、報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については対応するスポットレートを用いて換算するものであり、当社の経営陣が当社のレバレッジをモニターするために使用する方法論を反映しています。また、(ii) S&Pグローバル・レーティング・ジャパンの格付手法に基づく株式に似た特徴を評価して、S&Pグローバル・レーティング・ジャパンが2019年6月に発行したハイブリッド債（劣後債）の元本総額5,000億円に対して、50%のエクイティクレジットを適用しています。この数字から現金及び現金同等物及びワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関して当社が第三者に代わり一時的に保有していた現金を控除し、純有利子負債を算出しています。

純有利子負債の有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i) 製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠けて得るものです、(ii) 当社の負債に支払われる利息の金額を反映していません、(iii) 当社の負債に対する当社の前払い能力又は償還能力の制限を反映していません、(iv) 当社が現金同等物を現金に換金する際に、ある通貨から他の通貨に換金する際に、又は当社グループ内で現金を移動する際に、当社が負担する可能性のある手数料、費用又はその他の費用を反映していません、(v) 有利子負債には、当社のローン契約と整合性のある平均為替レートが適用されますが、これは当社がある通貨を他の通貨に換金することができる実際の為替レートを反映していません、(vi) 当社は合理的であると考えていますが、当社の劣後債の金額はそれらの負債性に影響を及ぼさないことから、持分法による投資利益を反映しています。純有利子負債は、IFRSに基づく指標である社債、借入金及びその他の負債指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。

IFRSに準拠した指標の中で、純有利子負債は社債と借入金最も類似します。IFRSにおいて最も類似した指標との照合については、純有利子負債/調整後EBITDAをご参照下さい。

2022年度第3四半期累計 財務ベース業績 実勢レート・CERベース増減率



(億円)	2021年度 第3四半期累計	2022年度 第3四半期累計		対前年同期	
				実勢レートベース 増減率	CERベース 増減率(注1)
売上収益	26,957	30,713	3,756	13.9 %	△0.7 %
売上原価	△7,985	△9,343	△1,358	△17.0 %	△3.4 %
売上総利益	18,973	21,370	2,398	12.6 %	△2.4 %
対売上収益比率	70.4 %	69.6 %		△0.8 pp	△1.2 pp
販売費及び一般管理費	△6,629	△7,425	△796	△12.0 %	2.2 %
研究開発費	△3,825	△4,724	△899	△23.5 %	△4.9 %
製品に係る無形資産償却費	△3,091	△3,706	△615	△19.9 %	△0.4 %
製品に係る無形資産減損損失	△146	△386	△240	△165.0 %	△112.2 %
その他の営業収益	343	167	△176	△51.3 %	△54.4 %
その他の営業費用	△1,000	△1,276	△276	△27.6 %	△8.6 %
営業利益	4,625	4,019	△605	△13.1 %	△20.3 %
対売上収益比率	17.2 %	13.1 %		△4.1 pp	△3.4 pp
金融収益	429	551	122	28.4 %	17.6 %
金融費用	△1,435	△1,268	168	11.7 %	16.9 %
持分法による投資損益	△53	△31	21	40.4 %	58.1 %
税引前四半期利益	3,566	3,272	△294	△8.3 %	△16.5 %
法人所得税費用	△1,151	△413	738	64.1 %	61.3 %
四半期利益	2,415	2,859	444	18.4 %	4.8 %
非支配持分	△1	△0	1	84.4 %	87.8 %
四半期利益(親会社の所有者持分)	2,414	2,859	445	18.4 %	4.9 %
基本的 EPS(円)	154.09	184.32	30.23	19.6 %	5.9 %

(注1) A-1「Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フローの定義」をご参照ください。

* 対前年同期の増減率(%)は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

2022年度第3四半期（10-12月） 財務ベース業績 実勢レート・CERベース増減率



(億円)	2021年度 第3四半期 (10-12月)	2022年度 第3四半期 (10-12月)	対前年同期		
			実勢レートベース 増減率	CERベース 増減率（注1）	
売上収益	9,013	10,966	1,953	21.7 %	2.6 %
売上原価	△2,814	△3,360	△546	△19.4 %	△2.3 %
売上総利益	6,199	7,606	1,407	22.7 %	2.7 %
対売上収益比率	68.8 %	69.4 %		0.6 pp	0.1 pp
販売費及び一般管理費	△2,311	△2,623	△312	△13.5 %	3.8 %
研究開発費	△1,284	△1,746	△463	△36.0 %	△11.9 %
製品に係る無形資産償却費	△1,050	△1,298	△248	△23.6 %	0.9 %
製品に係る無形資産減損損失	△131	△58	73	55.8 %	65.1 %
その他の営業収益	147	32	△115	△78.3 %	△77.7 %
その他の営業費用	△406	△443	△37	△9.1 %	11.2 %
営業利益	1,165	1,470	305	26.2 %	10.8 %
対売上収益比率	12.9 %	13.4 %		0.5 pp	1.0 pp
金融収益	41	417	375	905.5 %	918.1 %
金融費用	△467	△797	△330	△70.7 %	△57.1 %
持分法による投資損益	△17	△18	△0	△2.1 %	20.3 %
税引前四半期利益	722	1,072	350	48.4 %	33.6 %
法人所得税費用	△144	120	264	—	—
四半期利益	578	1,191	613	106.1 %	87.1 %
非支配持分	△1	△0	0	56.3 %	65.2 %
四半期利益（親会社の所有者持分）	578	1,191	614	106.2 %	87.2 %
基本的 EPS（円）	36.91	76.63	39.72	107.6 %	88.5 %

（注1） A-1「Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フローの定義」をご参照ください。

* 対前年同期の増減率（%）は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

2022年度第3四半期累計 Core業績 実勢レート・CERベース増減率

(億円)	2021年度 第3四半期累計	2022年度 第3四半期累計		対前年同期	
				実勢レートベース 増減率	CERベース 増減率(注1)
売上収益	25,627	30,713	5,086	19.8 %	4.5 %
売上原価	△7,647	△9,017	△1,370	△17.9 %	△4.2 %
売上総利益	17,980	21,696	3,717	20.7 %	4.6 %
対売上収益比率	70.2 %	70.6 %		0.5 pp	0.1 pp
販売費及び一般管理費	△6,591	△7,429	△838	△12.7 %	1.6 %
研究開発費	△3,809	△4,721	△912	△23.9 %	△5.3 %
営業利益	7,579	9,547	1,967	26.0 %	9.7 %
対売上収益比率	29.6 %	31.1 %		1.5 pp	1.5 pp
金融収益	252	92	△160	△63.7 %	△69.4 %
金融費用	△1,142	△1,142	0	0.0 %	4.9 %
持分法による投資損益	38	25	△13	△34.2 %	△29.6 %
税引前四半期利益	6,727	8,521	1,794	26.7 %	9.0 %
法人所得税費用	△1,511	△1,449	62	4.1 %	15.1 %
四半期利益	5,216	7,072	1,856	35.6 %	15.9 %
非支配持分	△1	△0	1	84.4 %	87.8 %
四半期利益(親会社の所有者持分)	5,215	7,072	1,857	35.6 %	15.9 %
基本的 EPS(円)	333	456	123	37.0 %	17.1 %

(注1) A-1「Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フローの定義」をご参照ください。

* 対前年同期の増減率(%)は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

2022年度第3四半期（10-12月） Core業績 実勢レート・CERベース増減率



(億円)	2021年度 第3四半期 (10-12月)	2022年度 第3四半期 (10-12月)		対前年同期	
				実勢レートベース 増減率	CERベース 増減率（注1）
売上収益	9,013	10,966	1,953	21.7 %	2.6 %
売上原価	△2,706	△3,301	△595	△22.0 %	△4.7 %
売上総利益	6,307	7,664	1,357	21.5 %	1.7 %
対売上収益比率	70.0 %	69.9 %		△0.1 pp	△0.6 pp
販売費及び一般管理費	△2,304	△2,624	△320	△13.9 %	3.5 %
研究開発費	△1,281	△1,746	△465	△36.3 %	△12.1 %
営業利益	2,722	3,295	573	21.0 %	1.1 %
対売上収益比率	30.2 %	30.0 %		△0.2 pp	△0.4 pp
金融収益	16	395	379	2,333.4 %	2,395.0 %
金融費用	△322	△762	△440	△136.8 %	△119.3 %
持分法による投資損益	9	△2	△11	—	—
税引前四半期利益	2,426	2,925	500	20.6 %	1.0 %
法人所得税費用	△569	△320	249	43.7 %	56.7 %
四半期利益	1,856	2,605	749	40.3 %	18.7 %
非支配持分	△1	△0	0	56.3 %	65.2 %
四半期利益（親会社の所有者持分）	1,856	2,605	749	40.4 %	18.7 %
基本的 EPS（円）	119	168	49	41.3 %	19.5 %

（注1） A-1「Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フローの定義」をご参照ください。

* 対前年同期の増減率（%）は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

2022年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益／費用	その他	
売上収益	30,713					30,713
売上原価	△9,343				326	△9,017
売上総利益	21,370				326	21,696
販売費及び一般管理費	△7,425				△4	△7,429
研究開発費	△4,724				3	△4,721
製品に係る無形資産償却費	△3,706	3,706				—
製品に係る無形資産減損損失	△386		386			—
その他の営業収益	167			△167		—
その他の営業費用	△1,276			1,276		—
営業利益	4,019	3,706	386	1,110	325	9,547
対売上収益比率	13.1%					31.1%
金融収益及び費用（純額）	△716				△334	△1,050
持分法による投資損益	△31				56	25
税引前四半期利益	3,272	3,706	386	1,110	48	8,521
法人所得税費用	△413	△794	△82	△241	80	△1,449
非支配持分	△0					△0
四半期利益（親会社の所有者持分）	2,859	2,912	304	869	128	7,072
基本的EPS（円）	184					456
株式数（百万）	1,551					1,551

2022年度 第3四半期（10-12月）財務ベースからCoreへの調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益／費用	その他	
売上収益	10,966					10,966
売上原価	△3,360				59	△3,301
売上総利益	7,606				59	7,664
販売費及び一般管理費	△2,623				△1	△2,624
研究開発費	△1,746				1	△1,746
製品に係る無形資産償却費	△1,298	1,298				—
製品に係る無形資産減損損失	△58		58			—
その他の営業収益	32			△32		—
その他の営業費用	△443			443		—
営業利益	1,470	1,298	58	411	58	3,295
対売上収益比率	13.4%					30.0%
金融収益及び費用（純額）	△381				13	△368
持分法による投資損益	△18				16	△2
税引前四半期利益	1,072	1,298	58	411	87	2,925
法人所得税費用	120	△279	△12	△110	△40	△320
非支配持分	△0					△0
四半期利益（親会社の所有者持分）	1,191	1,019	46	301	47	2,605
基本的EPS（円）	77					168
株式数（百万）	1,555					1,555

2021年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整							CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益/費用	日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却	アイルランド税務評価(注1)	テバ合併会社に係る会計処理影響	その他	
売上収益	26,957				△1,330				25,627
売上原価	△ 7,985				6			331	△7,647
売上総利益	18,973				△1,324			331	17,980
販売費及び一般管理費	△ 6,629				10			28	△6,591
研究開発費	△ 3,825							16	△3,809
製品に係る無形資産償却費	△ 3,091	3,091							—
製品に係る無形資産減損損失	△ 146		146						—
その他の営業収益	343			△332			△11		—
その他の営業費用	△ 1,000			1,000					—
営業利益	4,625	3,091	146	669	△1,314		△11	375	7,579
対売上収益比率	17.2%								29.6%
金融収益及び費用(純額)	△ 1,006							116	△890
持分法による投資損益	△ 53						66	24	38
税引前四半期利益	3,566	3,091	146	669	△1,314		55	515	6,727
法人所得税費用	△ 1,151	△689	△36	△175	402	646	△17	△491	△1,511
非支配持分	△ 1								△1
四半期利益(親会社の所有者持分)	2,414	2,402	109	494	△912	646	38	23	5,215
基本的EPS(円)	154								333
株式数(百万)	1,567								1,567

(注1) 2014年にShire社がAbbVie社からの買収申し出の取下げに関連して受領した違約金に対するアイルランドでの課税を巡る税務評価から生じた税金および利息の合計と関連する税務便益5億円との純額646億円です。

2021年度 第3四半期（10-12月）財務ベースからCoreへの調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整							CORE
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益／費用	日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却	アイルランド税務評価(注1)	テバ合併会社に係る会計処理影響	その他	
売上収益	9,013								9,013
売上原価	△ 2,814							108	△2,706
売上総利益	6,199							108	6,307
販売費及び一般管理費	△ 2,311							7	△2,304
研究開発費	△ 1,284							3	△1,281
製品に係る無形資産償却費	△ 1,050	1,050							—
製品に係る無形資産減損損失	△ 131		131						—
その他の営業収益	147			△144			△11	7	—
その他の営業費用	△ 406			406					—
営業利益	1,165	1,050	131	262			△11	125	2,722
対売上収益比率	12.9%								30.2%
金融収益及び費用（純額）	△ 426							120	△306
持分法による投資損益	△ 17						66	△40	9
税引前四半期利益	722	1,050	131	262			55	205	2,426
法人所得税費用	△ 144	△234	△31	△60		9	△17	△92	△569
非支配持分	△ 1								△1
四半期利益（親会社の所有者持分）	578	816	100	202		9	38	113	1,856
基本的EPS（円）	37								119
株式数（百万）	1,565								1,565

(注1) 2014年にShire社がAbbVie社からの買収申し出の取下げに関連して受領した違約金に対するアイルランドでの課税を巡る税務評価から生じた税金費用に係る利息です。

フリー・キャッシュ・フロー



(億円)	2021年度 第3四半期累計	2022年度 第3四半期累計	対前年同期	
当期利益	2,415	2,859	444	18.4%
減価償却費、償却費及び減損損失	4,455	5,450	994	
運転資本増減（△は増加）	412	△1,724	△2,135	
法人税等の支払額	△1,072	△1,734	△661	
法人所得税等の還付及び還付加算金の受取額	61	83	22	
その他	1,203	1,900	697	
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,475	6,835	△641	△8.6%
当社が第三者に代わり一時的に保有していたキャッシュの調整 ^(注1)	470	762	292	
有形固定資産の取得による支出	△877	△1,049	△172	
有形固定資産の売却による収入	4	1	△3	
無形資産の取得による支出	△465	△847	△382	
投資の取得による支出	△76	△54	22	
投資の売却、償還による収入	161	206	45	
事業売却による収入（処分した現金及び現金同等物控除後）	21	—	△21	
フリー・キャッシュ・フロー	6,713	5,852	△861	△12.8%

(注1) 一時的なキャッシュの調整は、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関して当社が第三者に代わり一時的に保有していた現金の変動を指します。

2022年度 第3四半期累計 純有利子負債/調整後EBITDA



純有利子負債/調整後EBITDA倍率

(億円)	2022年度 第3四半期累計
現金および現金同等物 ^(注1)	5,538
連結財政状態計算書上の負債簿価	△42,869
ハイブリッド社債の50%資本性認定 為替調整 ^(注2)	2,500 674
有利子負債 ^(注3)	△39,695
純有利子負債	△34,157
純有利子負債/調整後EBITDA倍率	2.5x
調整後EBITDA (注4)	13,812

キャッシュの純増減

(億円)	2021年度 第3四半期累計	2022年度 第3四半期累計	対前年同期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,475	6,835	△641	△8.6%
有形固定資産の取得による支出	△877	△1,049		
有形固定資産の売却による収入	4	1		
無形資産の取得による支出	△465	△847		
投資の取得による支出	△76	△54		
投資の売却、償還による収入	161	206		
事業取得による支出	△497	—		
事業売却による収入	21	—		
短期借入金及びコマーシャルペーパーの純減少額	△0	—		
長期借入金の返済による支出	△4,141	△1		
社債の発行による収入	2,493	—		
社債の償還による支出	△2,209	△2,815		
自己株式の取得による支出	△525	△269		
利息の支払額	△849	△866		
配当金の支払額	△2,730	△2,690		
その他	△299	△327		
現金の増減額 (△は減少)	△2,514	△1,877	637	△25.3%

(注1) 各期末日の翌日から1年以内に償還期限の到来する短期投資を含み、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり保有していた現金を除く。

(注2) 期中平均レートで換算される調整後EBITDA計算と整合させるため、期初から期中残存する外貨建て負債を期中平均レートをを用いて換算している。報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については当該日の対応するスポットレートをを用いて換算している。

(注3) 流動・非流動の社債および借入金。2019年6月に5,000億円のハイブリッド債を発行、格付け機関から認定された50%の資本性である2,500億円を負債から控除。また、負債償却と為替影響に関連した非資金性の調整を含む。

(注4) 2022年12月までの過去12ヶ月 (LTM: Last Twelve Months)、2021年度通期から2021年度第3四半期累計を控除し、2022年度第3四半期累計を加算して算出しています。

2021年度 純有利子負債/調整後EBITDA



純有利子負債/調整後EBITDA倍率

(億円)	2021年度
現金および現金同等物 ^(注1)	6,422
連結財政状態計算書上の負債簿価	△43,454
ハイブリッド社債の50%資本性認定 為替調整 ^(注2)	2,500
有利子負債 ^(注3)	△38,760
純有利子負債	△32,338
純有利子負債/調整後EBITDA倍率	2.8x
調整後EBITDA	11,680

キャッシュの純増減

(億円)	2020年度	2021年度	対前年度	
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,109	11,231	1,122	11.1%
有形固定資産の取得による支出	△1,112	△1,233		
有形固定資産の売却による収入	465	18		
無形資産の取得による支出	△1,253	△628		
投資の取得による支出	△126	△83		
投資の売却、償還による収入	746	169		
事業取得による支出	—	△497		
事業売却による収入	5,304	282		
短期借入金及びコマースペーパーの純増減額	△1,490	△0		
長期借入金の返済による支出	△7,925	△4,141		
社債の発行による収入	11,795	2,493		
社債の償還による支出	△8,592	△3,960		
自己株式の取得による支出	△21	△775		
利息の支払額	△1,073	△1,082		
配当金の支払額	△2,834	△2,837		
その他	△831	△411		
現金の増減額 (△は減少)	3,161	△1,453	△4,614	—

(注1) 各期末日の翌日から1年以内に償還期限の到来する短期投資を含み、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり保有していた現金を除く。

(注2) 期中平均レートで換算される調整後EBITDA計算と整合させるため、期初から期中残存する外貨建て負債を期中平均レートを用いて換算している。報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については当該日の対応するスポットレートを用いて換算している。

(注3) 流動・非流動の社債および借入金。2019年6月に5,000億円のハイブリッド債を発行、格付け機関から認定された50%の資本性である2,500億円を負債から控除。また、負債償却と為替影響に関連した非資金性の調整を含む。

2022年度 第3四半期累計 および2021年度 第3四半期累計 当期利益からEBITDA/調整後EBITDAへの調整



(億円)	2021年度 第3四半期累計	2022年度 第3四半期累計	対前年同期	
当期利益	2,415	2,859	444	18.4%
法人所得税費用	1,151	413		
減価償却費及び償却費	4,309	5,030		
純支払利息	867	860		
EBITDA	8,742	9,162	420	4.8%
減損損失	147	420		
その他の営業収益・費用（減価償却費、償却費及びその他の非資金項目を除く）	595	1,054		
金融収益・費用（純支払利息を除く）	139	△144		
持分法による投資損益	53	31		
その他の調整項目	△466	772		
COVID-19に係る非中核費用	72	84		
日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却およびその他の非中核製品の売却	△1,314	—		
Shire社の買収で取得した棚卸資産の公正価値調整による利益への影響	248	249		
その他の費用 ^(注1)	529	439		
調整後EBITDA	9,209	11,295	2,086	22.7%

(注1) 株式報酬にかかる非資金性の費用とその他の一過性の非資金性の費用の調整を含みます。

2022年度 第3四半期累計 当期利益からEBITDA/調整後EBITDA (LTM) への調整



(億円)	2021年度 通期 (4-3月)	2021年度 第3四半期累計 (4-12月)	2022年度 第3四半期累計 (4-12月)	2022年度 第3四半期累計 LTM ^(注1) (1-12月)
当期利益	2,302	2,415	2,859	2,745
法人所得税費用	724	1,151	413	△14
減価償却費及び償却費	5,832	4,309	5,030	6,553
純支払利息	1,178	867	860	1,172
EBITDA	10,036	8,742	9,162	10,456
減損損失	545	147	420	818
その他の営業収益・費用（減価償却費、償却費及びその他の非資金項目を除く）	1,063	595	1,054	1,521
金融収益・費用（純支払利息を除く）	251	139	△144	△32
持分法による投資損益	154	53	31	132
その他の調整項目	△302	△466	772	936
COVID-19に係る非中核費用	104	72	84	116
日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却	△1,448	△1,314	—	△134
Shire社の買収で取得した棚卸資産の公正価値調整による利益への影響	319	248	249	320
その他の費用 ^(注2)	724	529	439	634
調整後EBITDA	11,745	9,209	11,295	13,832
売却した製品に係るEBITDA ^(注3)	△66			△19
調整後EBITDA (LTM)	11,680			13,812

(注1) 2022年12月までの過去12ヶ月（LTM: Last Twelve Months）、2021年度通期から2021年度第3四半期累計を控除し、2022年度第3四半期累計を加算して算出しています。

(注2) 株式報酬にかかる非資金性の費用とその他の一過性の非資金性の費用の調整を含みます。

(注3) 調整後EBITDAのLTM算出にあたり、売却した製品に係るEBITDAを調整しています。

為替レートおよび2022年度の為替感応度



平均レート (円)			2022年度下期予想 (2022年10月~2023年3月) に対する為替円安影響 (億円)					
	2021年度 第3四半期累計 (4-12月)	2022年度 第3四半期累計 (4-12月)	2022年度 前提 (4-3月)		売上収益 (国際会計基準)	営業利益 (国際会計基準)	当期利益 (国際会計基準)	Core営業利益 (国際会計基準に 非準拠)
米ドル	111	136	132	1%為替円安影響	86.9	14.0	10.5	31.4
				1円為替円安影響	66.1	10.7	8.0	23.9
ユーロ	131	140	138	1%為替円安影響	22.0	△14.7	△15.5	△11.7
				1円為替円安影響	16.0	△10.6	△11.2	△8.5
ロシアルーブル	1.5	2.2	2.1		2.9	1.6	1.6	1.8
中国元	17.2	19.8	19.8	1%為替円安影響	8.6	5.1	5.1	5.1
ブラジルリアル	20.7	26.5	26.4		3.9	2.4	2.4	2.5

資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失



(億円)	2021年度	2021年度 第3四半期累計	2022年度 第3四半期累計	対前年同期		2022年度 直近公表予想 (2022年10月27日)
資本的支出 ^(注1)	1,860	1,342	1,896	554	41.3%	2,600 ~ 3,100
有形固定資産の増加額	1,233	877	1,049	172	19.6%	
無形資産の増加額	628	465	847	382	82.0%	
(注1) キャッシュベース						
減価償却費及び償却費	5,798	4,284	5,005	722	16.8%	6,400
有形固定資産の減価償却費 ^(注2) (A)	1,324	996	1,108	112	11.3%	
無形資産の償却費 (B)	4,474	3,288	3,897	609	18.5%	
うち、製品に係る償却費 (C)	4,188	3,091	3,706	615	19.9%	4,800
うち、製品以外に係る償却費 (D)	286	197	191	△6	△3.2%	
(注2) 投資不動産に係る減価償却費は含まない。						
減価償却費及び償却費 (製品に係る償却費を除く) (A)+(D)	1,610	1,193	1,299	106	8.9%	1,600
減損損失	545	147	389	242	165.3%	
うち、製品に係る減損損失	541	146	386	240	165.0%	500
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	4,729	3,236	4,092	856	26.4%	5,300

* 資本的支出の直近公表予想には、Nimbus Therapeutics, LLCからのNDI-034858取得のための40億米ドルの一時金支払いを含め、公表しているものの取引が完了していない案件に係る支払時期は取引完了時期によるため、その影響額を含めておりません。

2022年度業績予想（詳細）



（億円）	2021年度 実績	2022年度 直近公表予想 （2022年10月27日）	2022年度 直近公表予想 対前年度増減率
売上収益	35,690	39,300	10.1%
研究開発費	△5,261	△6,200	△17.9%
製品に係る無形資産償却費	△4,188	△4,800	△14.6%
製品に係る無形資産減損損失	△541	△500	7.6%
その他の営業収益	431	130	△69.9%
その他の営業費用	△1,591	△1,000	37.1%
営業利益	4,608	5,300	15.0%
金融収益及び費用（純額）	△1,429	△1,050	26.5%
税引前当期利益	3,026	4,260	40.8%
当期利益	2,301	3,070	33.4%
EPS（円）	147	198	34.4%
Core売上収益 ^{（注1）}	34,205	39,300	14.9%
Core営業利益 ^{（注1）}	9,552	11,800	23.5%
Core EPS（円）	425	525	23.6%
円/ドル（円）	112	132	18.3%
円/ユーロ（円）	131	138	5.9%

（注1）定義はA-1「Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フローの定義」を、調整表はA-20「2022年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表」をご参照ください。

2022年度Core営業利益調整項目とキャッシュ・フロー予想



Core営業利益調整項目

(億円)	2022年度 第3四半期累計	2022年度 直近公表予想 (2022年10月27日)
製品に係る無形資産償却費	3,706	4,800
うち、シャイアー社買収に関連する無形資産償却費	3,009	3,900
製品に係る無形資産減損損失	386	500
その他の営業収益	△167	△130
その他の営業費用	1,276	1,000
その他のCore営業利益の調整	325	330
うち、シャイアー社買収による棚卸資産の公正価値調整の売上原価処理	249	250
Core営業利益調整の合計	5,527	6,500

キャッシュ・フロー予想

(億円)	2022年度 第3四半期累計	2022年度 直近公表予想 (2022年10月27日)
フリー・キャッシュ・フロー ^(注1)	5,852	6,500 ~ 7,500
資本的支出(キャッシュ・フロー・ベース) ^(注1)	△1,896	△2,600 ~ △3,100
有形固定資産の減価償却費及び無形資産償却費 (製品に係る無形資産償却費を除く)	△1,299	△1,600
調整後EBITDAに対する現金税金の税率 (事業売却を除く)	N/A	10%台半ば

(注1) フリー・キャッシュ・フローおよび資本的支出の直近公表予想には、Nimbus Therapeutics, LLCからのNDI-034858取得のための40億米ドルの一時金支払いを含め、公表しているものの取引が完了していない案件に係る支払時期は取引完了時期によるため、その影響額を含めておりません。

2022年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				Core
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益及び営業費用	その他	
売上収益	39,300					39,300
売上原価					280	
売上総利益					280	
販売費及び一般管理費及び研究開発費					50	
製品に係る無形資産償却費	△4,800	4,800				—
製品に係る無形資産減損損失	△500		500			—
その他の営業収益	130			△130		—
その他の営業費用	△1,000			1,000		—
営業利益	5,300	4,800	500	870	330	11,800



Better Health, Brighter Future

© 2023 Takeda Pharmaceutical Company Limited. All rights reserved.